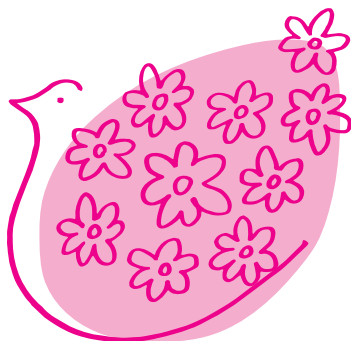
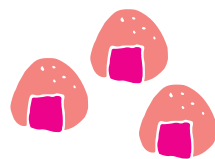
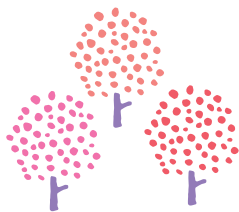




Peace Aichi 10th



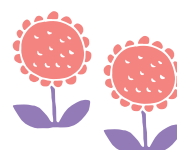
私にとっての 平和とは？



投稿募集



〈 報告書 〉



戦争と平和の資料館 ピースあいち

私にとっての平和とは？

投稿募集

〈 報告書 〉

戦争と平和の資料館 ピースあいち

目次	P 2
はじめに	P 3
1. 呼びかけ	P 4
2. 投稿状況	P 5
3. ワークシートのまとめ	
① 平和をイメージする動物は何ですか？	P 6
② 平和をイメージする色は？	P 7
③ 今は平和だと思う？ 思わない？	P 8
④ 私がイメージする平和とは○○○な状態です。	P 10
⑤ 平和のために、自分は○○○を知りたい。	P 11
⑥ 平和のために自分ができることは○○○だと思う。	P 12
4. 自由投稿	
私にとっての平和とは？ 平和のために自分ができることは？ (全掲載)	P 13
まとめに代えて	P 39





Peace Aichi 10th

私にとっての 平和とは？

投稿募集

〈 報告書 〉

私にとっての平和とは？

投稿募集

〈 報告書 〉

戦争と平和の資料館 ピースあいち

目次	P 2
はじめに	P 3
1. 呼びかけ	P 4
2. 投稿状況	P 5
3. ワークシートのまとめ	
① 平和をイメージする動物（鳩以外で）は何ですか？	P 6
② 平和をイメージする色は？	P 7
③ 今は平和だと思う？ 思わない？	P 8
④ 私がイメージする平和とは○○○な状態です。	P 10
⑤ 平和のために私は○○○を知りたい。	P 11
⑥ 平和のために私ができることは○○○だと思う。	P 12
4. 自由投稿	
私にとっての平和とは？ 平和のために自分ができることは？	P 13
報告のまとめに代えて	P 39



はじめに

このプロジェクトは、2017年5月の「戦争と平和の資料館ピースあいち開館10周年」にあたり、年間を通じて開館10周年をアピールする企画として、前年の8月に提案されました。提案書の「目的」は、以下のとおりでした。

ピースあいち開館から10年。その間、社会状況は大きく変わり、戦争がより身近なものになった感がある。

憲法解釈の変更により、海外に派遣された自衛隊が戦争当事者になる可能性がある。「防衛装備移転三原則」の閣議決定で、「武器輸出三原則」は事実上撤廃されつつある。また、大学・研究機関・企業の研究者が軍学共同に取り込まれつつある。原発は再稼働され、格差が広がり、平和な日常生活が脅かされつつある。

海外に目を転じれば、戦火は止まず難民が大量に生み出され、テロが各国で起き、その撲滅の名のもとにさらに戦争が激しく広がっていく…。

これからの10年は、否応なく、戦争と平和について考え、行動していかなければならないだろう。次の時代を担っていく人から、「平和」をテーマに、意見や提案を募集する。応募された意見は冊子にまとめ、一般の人たちと共有する。ピースあいちの今後の活動にも活かしていく。

提案は運営委員会です承され、ピースあいち広報班を中心に参加者を募ってプロジェクトチームを作り、2016年9月22日に第1回の会議を持ちました。以後、目的、対象、内容、募集方法、どのようにまとめるかなどを議論し、2017年2月から募集を始めました。

募集テーマは、「私にとっての平和とは？」。募集に対するイメージは、次のようになりました。「短くても文章にすることで、平和について考える時間をもってもらえたら」というものです。

- ・年齢を問わず募集するが、主たるターゲットは、児童・学生・子育て中の人たちなど、若い層とする。
- ・若い人たちにピースあいちを知ってもらうこと、平和について考えてもらうこと、言葉にしてもらうこと、その考えを知って今後のピースあいちの活動に反映していくことを目的に、幅広くキャンペーンを展開する。

投稿は、ワークシートに記入してもらう形と、自由投稿の2種類となりました。募集の締め切りは2017年12月31日。結果、415人の方から投稿いただき、その80%が10代でした。

「平和とは何か。」「平和のために自分ができることは何か。」みなさんが真剣に考えてくださった結果を報告します。私たちはそこから何を学ぶことができるでしょうか。

(大部分の方は投稿の際にお名前を書いていたと思いますが、報告書では掲載しないことにしました。)

1. 呼びかけ

① 投稿のテーマ

「私にとっての平和とは？」

- ・あまり文章を書いたことのない人たちも「書いてみようかな」と思えるきっかけになるような「切り口」「問いかけ」「サブテーマ」などを、呼びかけ文などで示した。

② 募集内容

- ・応募は文字に限った。 ・文字数は一言から800字まで。

③ 呼びかけ方（PR媒体・PR方法・呼びかける相手）

- ・チラシの配布 ・ツイッターなどSNSを使って展開した。 ・ピースあいちのHPから投稿できるようにした。 ・学校、学童、医療関係者、育児支援センター、お母さんたちが行く店舗などに個別に呼びかけた。 ・学校から見学に来る団体に、事前学習または当日学習に活用できるワークシート（記入していくと平和について考えられるようなもの）を提供した。

④ 発表の仕方

- ・投稿は冊子にまとめ、一般の人たちと共有する。 ・WEBで公開する。

Peace Aichi 10th

私にとっての平和とは？

投稿募集

戦争はいやだ、平和がいいと思っている
でもそのことを周りの人に伝えたことがありますか？
あなたの平和への思いを言葉にしてください
書くことで言葉にすることで
きっと何か見えてくる

《戦争と平和の資料館「ピースあいち」10周年 記念行事》

学校や、ピースあいちのような資料館で勉強したこと、おじいさんやおばあさんから聞いた戦争の話、映画や本で知ったことなど、どんな糸口でもかまいません。大きな戦争の話だけでなく、普段の生活で感じる小さな幸せも、かけがえのない平和です。それをずっと大事にする気持ちを、あなたの言葉にしてみませんか。

● 文字数：一言から800字まで
● 応募方法：ピースあいちホームページ「私にとっての平和とは？」投稿募集ページより投稿ください。
FAXまたは郵送でも投稿できます。
● 住所・氏名（7桁）・年齢・連絡先電話番号・メールアドレスを記入
● 締切は2017年12月31日（日）（必着）

● 原稿は返却しません。
● 投稿作品は電子ならびにピースあいちホームページにて発表します。（事前に了解を得ます。投稿者多数の場合は全作品を掲載できない旨ご了承ください。ホームページでは氏名は公表しません）
● FAX、郵送の場合「私にとっての平和とは？」投稿募集係行と明記してください。

お問い合わせ TEL&FAX 052-602-4222
ホームページ http://www.peace-aichi.com/

〒465-0091 名古屋市中東区よもぎ台 2-820
戦争と平和の資料館 ピースあいち

チラシ

私にとっての平和とは？

ことばにしてみよう 年齢 歳 性別 男・女

平和ってなあに？

平和をイメージする動物（鳩以外）は… 平和をイメージする色は… 私がイメージする平和とは…

今は平和だと 思う・思わない
なぜなら

平和のために 私は

平和のために 私ができることは

私にとっての平和とは 自由に書いてください

「私にとっての平和とは？」投稿募集 詳しくはピースあいちホームページをご覧ください
（この用紙で投稿する方は裏面にお名前等をご記入ください） FAXでも投稿できます。FAX:052-602-4222

ワークシート

2. 投稿状況

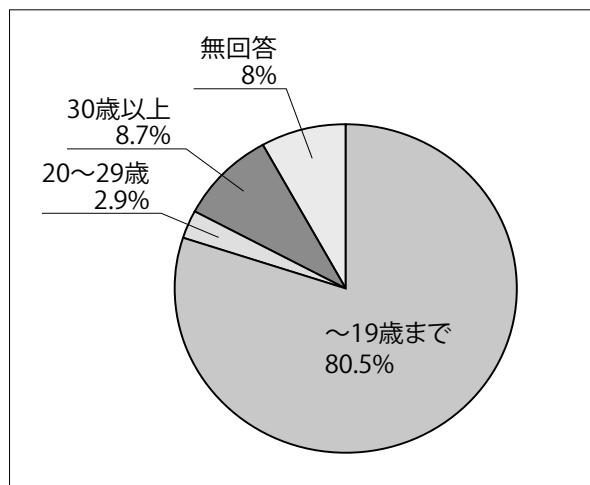
来館時にワークシートで、またメールや郵送などで、計415人の方から投稿していただきました。年齢は、7歳から84歳まででした。

また、豊が丘小学校（6年生）、十四山中学校（2年生）、金城学院中学校（3年生）では、平和学習の一環として、学校、学年単位で取り組んでいただきました。

応募者のうち、80%（334人）が10代でした。男性は40%、女性は52%（無回答が8%）でした。

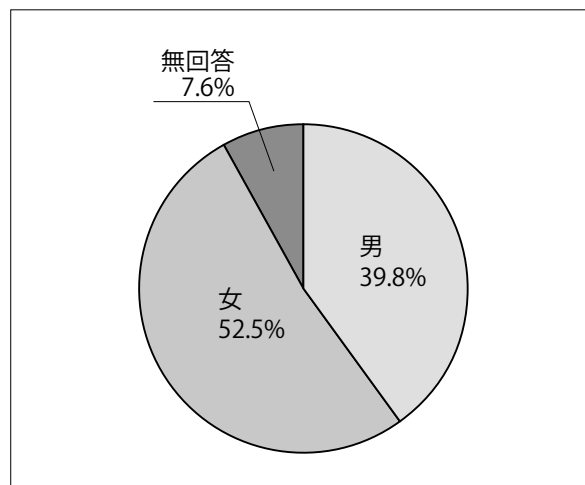
A-1 年齢

年 齢	人 数	(%)
～19歳まで	334	80.5%
20～29歳	12	2.9%
30歳以上	36	8.7%
無回答	33	8.0%
総 計	415	100.0%



B-1 性別

性 別	人 数	(%)
男	165	39.8%
女	218	52.5%
無回答	32	7.6%
総 計	415	100.0%



3. ワークシートのまとめ

①平和をイメージする動物（鳩以外で）は何ですか？

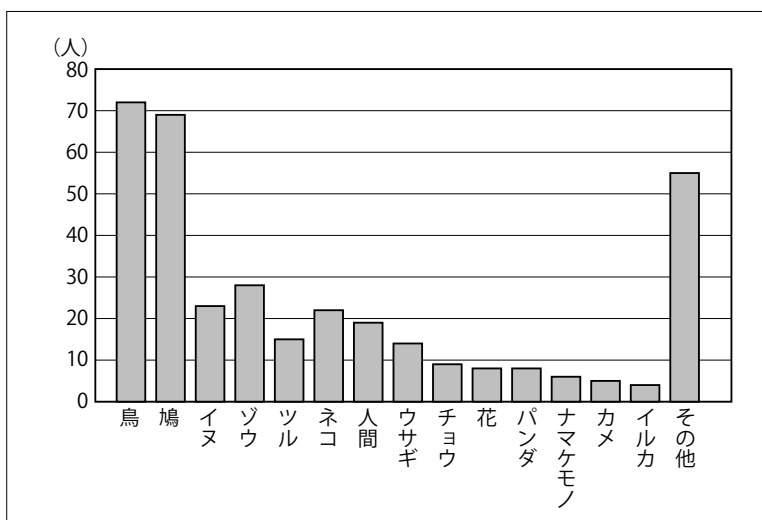
平和の象徴と言われる鳩以外でイメージする動物、ということでお聞きしましたが、2割弱の方が「鳩」をあげられました。やはり、平和のイメージ＝鳩は強固なようです。ピースあいち10周年のロゴも鳩を使ったデザインです。

そして鳩も含まれるのかもしれませんが、「鳥」をあげられた方が2割。「ツル」をあげた方もいました。鳥は自由なイメージのようです。

身近な動物の「イヌ」、「ネコ」をあげた方も多くいます。

次いで多かったのが「ゾウ」。これは戦時中もゾウを守り、戦後ゾウ列車を走らせた東山動物園のある地域ならではの答えかもしれません。

項 目	人数	(%)
鳥	72	20.2
鳩	69	19.3
イヌ	23	6.4
ゾウ	28	7.8
ツル	15	4.2
ネコ	22	6.2
人間	19	5.3
ウサギ	14	3.9
チョウ	9	2.5
花	8	2.2
パンダ	8	2.2
ナマケモノ	6	1.7
カメ	5	1.4
イルカ	4	1.1
その他	55	15.4
合 計	357	100.0



○それはなぜですか？（抜粋）

鳥

- ・自由なイメージだから。

イヌ

- ・いろんな家のペットになって人を癒したり、警察犬として事件の解決につなげたり、盲導犬として目が見えない人々を支えているから。

ネコ

- ・いつもは寝てばかりだけど、自分が必要としている時に察して近くにいてくれるから。そういう存在が人間にも必要だと思う。

ゾウ

- ・象列車のことをまとめて、改めて象は平和につながると思ったから。

羊

- ・目が見えにくいので、いつも群れで生きています。私たちみんなで仲良く協力して生きていくことが平和につながると思います。

イルカ

- ・同じ哺乳類だが同じところで生きていなく、地上と海というま反対で生きている。人もま反対の意見を持っているが同じ人であるから。

不死鳥

- ・死なない。また生まれ変わる。涙を傷をいやす。

ない

- ・この動物は平和そうでこの動物は平和そうでないというイメージをつけたくないから。すべての動物が平和をイメージさせる動物であるべきだと思う。

②平和をイメージする色は？

もっとも多かったのが「白」。何色にも染められていない色。同じような意味で「透明」をあげた方もいます。

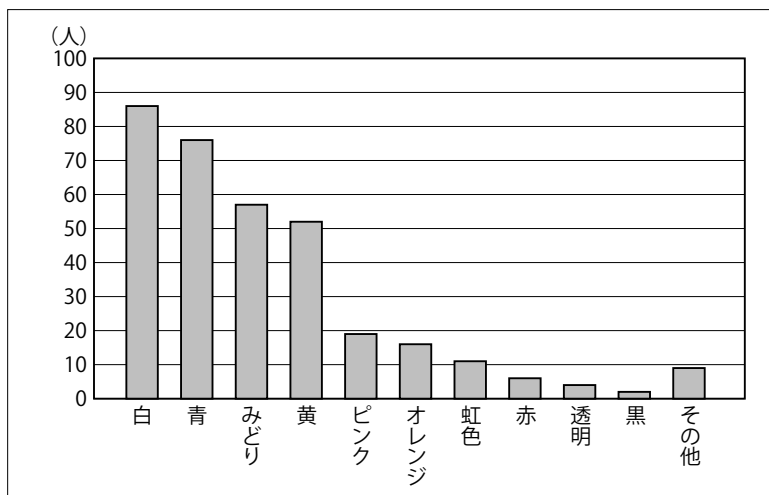
次いで「青（水色）」。空の色としてあげた方が多くいました。

「みどり」は自然をイメージする色としてあげられました。

「黄」「ピンク」「オレンジ」などの暖色系の色は、光や暖かさのイメージ。

いろいろな人の個性を表す色（十人十色）として「虹色（レインボーカラー）」も目立ちました。

項 目	人数	(%)
白	86	25.4
青	76	22.5
みどり	57	16.9
黄	52	15.4
ピンク	19	5.6
オレンジ	16	4.7
虹色	11	3.3
赤	6	1.8
透明	4	1.2
黒	2	0.6
その他	9	2.7
合 計	338	100.0



○それはなぜですか？（抜粋）

白

- ・真っ白なものに「これからみんなでいろんな色に染めよう」って感じがするから。
- ・平和は何色にも染まらないと思ったから。
- ・米が食べられる。

透明

- ・平和とは何色でもないと思うから。

青

- ・戦争などをしていたら空はどんより曇り空、爆弾などで出た煙や火の煙などで。だけど平和ならきれいな青い空が見えるとおもうから。

水色

- ・昔は空襲で空は水色でなかったと思うから。

みどり

- ・木や森がたくさんあると心が落ちつくのいいと思ったから。
- ・広島に原爆がおとされた後"被爆アオギリ"という名前でアオギリが復活し、平和だからこそ新しい葉がめばえて、町に緑がふえたから。

黄

- ・おだやかで明るい色だから。

- ・平和といえば光のような気がするから。
- ・平和とはみんなが笑顔でいることだと思い、笑顔から連想する色が黄色だったから。

ピンク

- ・皆の優しい心で平和が作られているから。
- ・ピンクです！ みんな笑っている感じ（笑顔）がピンクだと私たちの心も明るくなれると思うからです。濃い色よりうすいほうが平和っぽく思います。

オレンジ

- ・人の心があたたかくなるような、ほっこりしているような状態を思い浮かべせるような色だから。
- ・太陽のように明るくておだやかな色だから。

やまぶき色

- ・あたたかみがあるから。

虹色

- ・人それぞれいろんな色をもった人がいると思うから。（1色に統一する必要とかはないと思う）
- ・十人十色みたいに1人1人好きな色、ものがあってそれを全て受け入れるような。そして、そんなような世界をうつし出している色だと思うから。
- ・世界にはいろいろな人がいて、いろいろな色はそれをあらわしている気がする。

③今は平和だと思う？ 思わない？

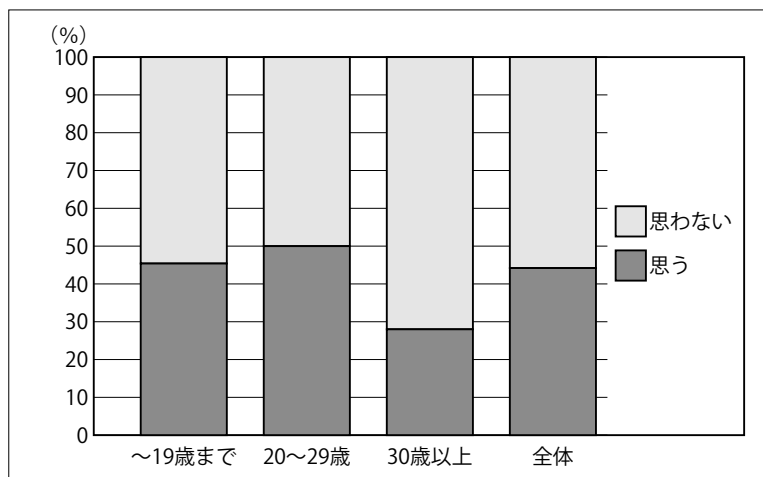
この項目については、317人の回答がありました。

全体では「平和と思う」が44%、「平和と思わない」が56%。

10代までは、「平和だと思う」が45%、「平和と思わない」が54%。20代は各50%と、均衡しています。回答数は少ないのですが、30代以上は「平和だと思う」が28%、「平和と思わない」が72%でした。

「平和だと思う」理由は、「日本は」「日本に限定して」あるいは、「自由がある」などの答えが目立ちました。「平和と思わない」理由は、「日本にいと平和だなと感じるけれど世界にはまだ戦争がある」「テロがあったり、貧困で死んでいく人がたくさんいるから」と世界に目を向けて回答しています。

	～19歳まで		20～29歳		30歳以上		全体	
思う	127人	45.4%	6人	50.0%	7人	28.0%	140人	44.2%
思わない	153人	54.6%	6人	50.0%	18人	72.0%	177人	55.8%
総 計	280人	100.0%	12人	100.0%	25人	100.0%	317人	100.0%



○今は平和だと思う。なぜなら… (抜粋)

【～19歳まで】

- ・ごはんがふつうにたべられるし、せんそうみたいにはくんだんがおちてこないから。
- ・どうでもいいことで笑ってられる。
- ・欲しいと思ったものがすぐに手に入る。
- ・平和について考えるということが広まっている。
- ・少し思わないところはあるけれど、戦争が起きていない。
- ・平和のために行動している人がたくさんいる。
- ・戦争などもなく、毎日やりたいことができていから。
- ・戦争がなく、いろいろな知識情報が知れるから。
- ・世界は分らないけど、日本は笑顔がたくさんあって戦争がない。

- ・戦争が起きそうだけど空は青いし、みんな笑えている。
- ・戦争がないから。でも、心から幸せだと思えてずっと笑顔でいられる、という人が全員とは限らないと思う。

【20歳以上】

- ・世界のどこかでは今も戦争が起こっているが、私だけに関しては、私が見ている世界は、例えば、晴れている空をみるだけで平和だと感じる。
- ・日本は衣食住を好きなものが選べる。職業が選べる。それだけで心がみたされる。そう思えるだけで、自分の周りは平和だと思うから。
- ・自由に生きたいと思えばできる。
- ・食べたい、寝たい、遊びたい、言いたい制限されていると感じる毎日ではない。

- ・だめな事はだめとまだ言えるから。
- ・食物が豊富
- ・一応モノが言える社会に生かされている。
- ・戦争中と比べものにならないくらい幸せ
- ・昔にくらべればいい方
- ・限定的に日本が平和
- ・ある程度自分の考えで生きられる。(それを維持していかなければならないと思います)

○今は平和だと思わない。なぜなら… (抜粋)

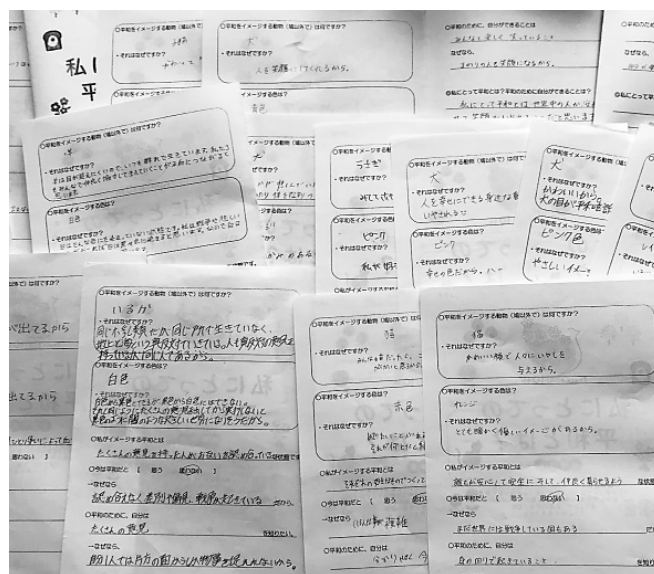
【～19歳まで】

- ・こまっている人がたくさんいる。
- ・かくじっけんなどせんそうのときに、使うへいきを作っている所があつてじっけんもしている。
- ・世界各地に目を向けると争いごとがたえない。
- ・日本でも子どもの貧困は増えているし、世界ではまだ戦争をしている所もある。
- ・くうしゅうで苦しむひとがまだいるから。
- ・戦争があるところもあるし、子どもがはたらかされているところもあるし、なによりみんながみんな笑顔だというわけではないから。悲しんでいる人がいるから。
- ・北朝鮮からのミサイル実験があつたり、トランプ大統領の差別の言葉があつたりするから。
- ・世界にはまだ戦争があるし、貧困で死んでいく人がたくさんいるから。それに日本はもう戦争はしないとやっているけれど、いつそれが変わってしまうかわからないような状況になってきているから。

- ・貧富の差がはげしいと思う。
- ・全ての人が幸せを感じていなければ平和と言えないと思う。
- ・今、私は学校へ行き、それがあたりまえの生活をしていますが、世界にはまだ戦争をしていたり、学校へ行けなかったり、つらく悲しい状態にいる人がたくさんいる。
- ・他の人が苦しんでいるのに、それを平和と思ってはいけない。

【20歳以上】

- ・いまニュースで言われている北朝鮮とアメリカの核問題がまたいつ戦争になってもおかしくないと思う。
- ・外国では戦争は続いている…戦争によってまわっている経済がある…もしかしたら…この国だって…(この国のお金や技術だって)からんでるかもしれない。
- ・貧困・軍拡が広がっているから。
- ・再び戦争をするための改憲が企てられていて不安。東日本全域が放射能汚染されて住めない土地になってしまった。
- ・着々と戦争の準備が進められている。
- ・世界のどこかで戦争やテロがおき、まだ食べられる食料が捨てられる中で餓死する子どもたちがおり、オリンピックがすすめられる中で、福島原発で避難されている方々の援助が打ち切られる状況だから。
- ・何よりも米軍基地周辺の戦争への動きを見ると。
- ・他人が大切だと考えていることを尊重してあげることができていない。



④私がイメージする平和とは○○○な状態です。

「平和のイメージ」として年代を問わず多く寄せられているのが、「みんなが笑顔」「普通の生活ができる」「自由にものが言える」という声です。

10代では「戦争がどこでもおこってなくて災害もおこってなく、一人一人がちゃんと夢を持って生きていけるような世界」「1日1日を過ごすたびに新しい発見があったり、昨日より今日、今日より明日の方が幸せだと思う時間が長くなるよう」と笑顔で暮らせる日々と夢をもって生きることができることを「平和のイメージ」としています。

また、20歳以上の方のなかでは、「世界のどこにも戦争のない」「世界から戦争や紛争がなくなり、全ての人が衣食住に困らない生活ができる」と「戦争や紛争のない世界」を「平和のイメージ」としています。

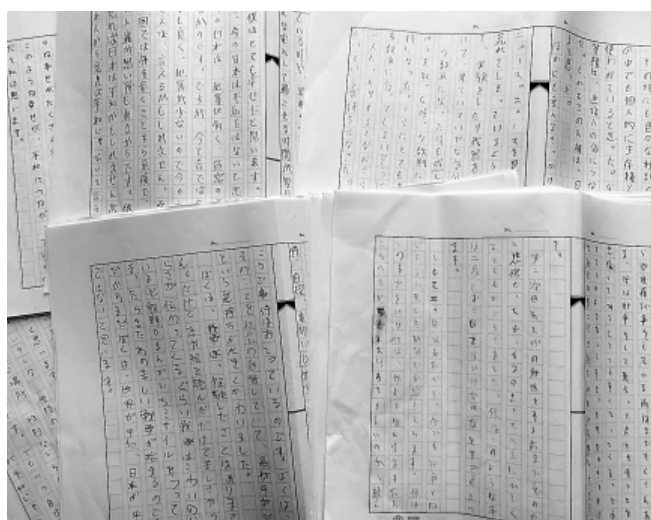
【～19歳まで】

- ・ごはんがふつうにたべられる。
- ・あたりまえの生活。普通の生活で笑顔でいる。
- ・誰もがしあわせで戦争をしていない。
- ・大きな争いがなく、小さな争いがあったとしても最後は解決して今までどおり過ごせる世界
- ・何もない世界ではなく、自分に役わりがあって友達が自分を認めてくれること
- ・核兵器原子ばくだんがそんざいしない。
- ・みんなが安心でき、自信を持ち、生きていける世界
小さな幸せ一つでも一人一人にある。
- ・兵器の使用がないことだけでなく、世界のすべての人が人としてあるべき権利や機会を平等に享受できる。

【20歳以上】

- ・自分で未来を選べる。
- ・誰もが正しい教育を受けられる。

- ・人間がお互いの命や文化、宗教を尊重し、違うところがあっても干渉し合わないこと。武力や武器で支配しないこと
- ・どこかの国の誰かが飢えることなく未来に希望を持てる。
- ・あたりまえかもしれませんが、家族がわらって会話をしている。
- ・争いがなく一人一人の人間が大切にされて皆が安心して仲良く穏やかに暮らしている。
- ・子どもと動物が笑って遊んでいる。さまざまな障害をもつ人々が認められ、自分らしく生きていられる。
- ・環境を破壊し人を殺すすべての兵器が存在しない。（武力を放棄した）
- ・平和とは生命がつながれることです。戦争とは生命が断ち切られることです。
- ・晴耕雨読
- ・人間が尊厳ある生を生き、そして死ぬことができる。



⑤平和のために私は〇〇〇を知りたい。

戦争資料館のアンケートだけに、「戦争の怖さ」「戦争の起こり方」「歴史」「戦争中の教育」などの答えが多く見られ、その他には、「差別や貧困の原因」「自由とは何か」など、「戦争」という言葉に直接つながらなくても、私たちの平穏な日常や幸せを妨げるものの実態を知ろうとする気持ちが感じられました。

また、10代の回答者では、「人間の心理」「戦争をしようと決める人の気持ち」「優しい心を持つ方法」など、争いを避けるための人間のあり方に焦点を当てた答えが印象的でした。

【10歳未満】

- ・人間の愚かさ せんそうのだめなところ
- ・世の中にどんな生活をしている人がいるのか。
- ・もっと日本以外の国の様子

【10代】

- ・世界の人たちはどのくらい幸せだと思っているのか。
- ・戦争をなぜ起こしたか。
- ・昔の歴史や戦争していた時代に生きた人の思い
- ・北朝鮮がミサイルを射つ理由
- ・国々の文化、行事、食生活、世界の人々が今、どのような心情でいるのか。
- ・戦争の時に行った政策が、今の日本にどうにかされているのか。
- ・過去の外交について
- ・世界の同じ子どもたちの生活
- ・戦争が起きたらどのような状況になってしまうのか。
- ・戦争を起こす人、巻き込む人の気持ち、考え
- ・戦後平和な日本をつくるためにどのような人が活躍したか。
- ・戦争中、どんな教育をされていたのか。
- ・日本が朝鮮や中国に戦時に何をしてきたのか。
- ・戦争の後には結局何が残ったのか。
- ・心理学を知りたい。平和のためには、自分を変えることも大切だけど、相手を理解することの方がもっと大切だと思うから。
- ・自分に関係のないことでも心配してあげられる心を知りたい。
- ・いろいろな国で今起こっている状況（差別、貧困、戦争）を知りたい。
- ・外国の言葉をたくさん知りたい。
- ・自由とは何か。
- ・幸せだと感じていない人の気持ち

【20代】

- ・多種多様な人がいること
- ・憎しみと恨みの感情を、なるべく心の奥にしまっておく方法
- ・歴史（全体主義が一人一人の人に何をしてきたか）

【30代】

- ・真実
- ・社会のしくみ
- ・次世代を担う子どもたちを少しでも救う手立て

【40代】

- ・本当の自由

【50代】

- ・多くの若者の声

【60代】

- ・議員一人一人の「平和への想い」「平和な国、暮らしについてのビジョン」

【年齢不明】

- ・いろいろなことから。人について経済についてなど、いろいろなことが平和になる力を持っている。
- ・歴史や憲法、現在の社会の状況を詳しく。

■ホームページでの投稿募集

〈戦争と平和の資料館「ピースあいち」10周年 記念行事〉

私にとっての平和とは？

戦争はいやだ、平和がいい と思っている
でもそのことを周りの人に伝えたことがありますか？
あなたの平和への思いを言葉にしてください
書くことで 言葉にすることで
きっと何か見えてくる

投稿募集

⑥平和のために私ができることは○○○だと思う。

10歳未満や10代で目立ったのは、「身近な人との関係を大切にする」「いじめをさせない・しない」「勉強する」「募金やボランティアに参加する」などでした。

20代・30代では、「社会人として選択を誤らないこと」「歴史を勉強する」、40代・50代・60代では「戦争を知って、それを忘れない」「子どもたちに伝える」「平和活動に参加する」、70代以上では「自分の戦争体験を伝える」「憲法を大切にする」などでした。

【10歳未満】

- ・ケンカをしないこと
- ・新聞などを読み、世の中のようにすを知ること
- ・デモにさんかすること

【10代】

- ・世界は変えられないからせめて身近なことをする。
- ・いじめをさせない・しないこと
- ・国や世界のルールを守ること
- ・勉強をすること
- ・命を無駄にしないこと
- ・18歳になったら真面目に投票すること
- ・ピースあいちのような資料館で多くのことを知る。
- ・国会に対して、何としても戦争に反対すること
- ・相手の喜ぶことをする。
- ・真面目に生きること
- ・戦争を止めることは難しいが、貧困に苦しむ子供に募金したり毛布を送ったりすることはできる。
- ・ボランティア活動やフェアトレード商品を買う。
- ・高望みしない。
- ・本当の歴史を知ること
- ・日本の過去を知り、それを参考に今どうするべきか考えること
- ・社会（政治）のことを学んで、きちんとした国の代表者を選ぶこと。国の代表者がおかしいと戦争とかが起こりやすくなると思うから。
- ・元気でいること 笑顔でいること
- ・みんなと平等に接し、人種差別や男女差別をなくす。
- ・さまざまな人たちがいることを知る。
- ・人に流されず自分の意思をちゃんと持ち、それを発言でき、互いに尊重すること

【20代】

- ・改めて戦争の悲惨さを知り、感じ、社会人として選択を誤らないこと
- ・家族や友達と平和について語り合う機会を作ること

でも、戦争の話はタブーなところがあってなかなか難しい。

【30代】

- ・学ぶ仲間を増やす。
- ・平和行進、戦争反対デモに参加する。

【40代】

- ・子どもたちの力（自主性）を尊重して考える力のある大人に育てる。

【60代】

- ・「まあいいか、仕方ない」と思わないこと

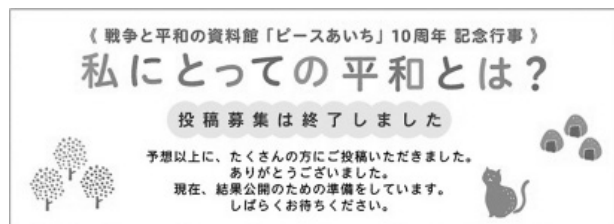
【70・80代】

- ・自分自身が平和な人間でありつづけること
- ・日本国憲法を大切にする。

【年齢不明】

- ・政治・報道から真実を見つめる力をつけたい。
- ・外国の方と仲良くする。
- ・言葉を大切にする。
- ・いろんな人と出会うこと。自分と違う価値観の人と出会うことで、人との接し方を学べる。
- ・自分は自分だから、あなたはあなただから美しいと思いい、許し、尊重すること

■ホームページでの投稿募集終了のお知らせ



4. 自由投稿

私にとっての平和とは？ 平和のために自分ができることは？

投稿された方全員分を掲載します。

ワークシート記入分と、自由投稿（800字まで）分です。

10代の投稿数は多いので、短文と長文に分けて掲載します。

【10歳未満】

- | | | |
|---------------------|-----------------------------|-----------------------------|
| ・人びとがじゆうにいきる。 | は笑おう」という言葉を大切にする。 | です。 |
| ・みんなが笑顔で元気なこと | ・世界中の人が楽しくなかよくくらせる
じょうたい | ・あらしがなくなまずしい家のない世界 |
| ・友だちをふやすこと | ・せんそうがないこと | ・大きなひがいないことがへいわだと
おもいます。 |
| ・「泣きたいときは泣こう。笑いたいとき | ・どんな人でも毎日楽しくしあわせにす | |

【10代】

ワークシートで回答された短文を、キーワードでまとめました。抽出できたキーワードは、「笑顔」「戦争」「争い」「何事も無い生活」「幸せ」「食べ物」「助け合い」「平等」「楽しく」「殺さない殺されない」「自由」「家族」「安全」「武器」「緑」。一言で「笑顔」といっても、その中にはそれぞれの人の、いろいろな意味が込められていることがわかります。（たくさんのキーワードがある場合は、最初に書かれている言葉でまとめました。）

笑顔

- ・みんなが笑顔でいられること（5）
- ・笑顔（4）
- ・国内だけでなく、国外も全ての人たちが笑顔で毎日過ごせて、「幸せだな」って思うことができること
- ・みんな笑顔で戦争なんかなくて国民が世界をつくることだと思います。
- ・笑顔 相手と分かり合える事（相手の気持ち）
- ・私にとっての平和とは、みんなが笑顔でいられることです。なぜなら笑顔の人をみたら、しあわせな気持ちになるからです。だから私はみんながしあわせな気持ちでいられるように笑顔でいたいです。
- ・苦しみことなく笑顔で暮らせること
- ・世界の人々が同じように笑顔で暮らしている。
- ・みんなが常に笑って暮らせている現状
- ・全ての人が笑顔で暮らせて差別とかが

ない世界

- ・笑って暮らせること
- ・1秒でも世界中が同時に笑う。
- ・笑顔でいられる世界
- ・いつも笑顔でいられる日々
- ・みんなが笑顔で幸せに暮らせるような社会
- ・笑って楽しく暮らすこと
- ・一人一人が笑顔でいられること
- ・みんな笑顔で暮らせる世界
- ・みんなが笑顔で心から「幸せ」と思える。
- ・みんな笑顔で、豊かに暮らしている。

戦争

- ・戦争がなく、人々が協力する自然で豊かな町
- ・戦争によって苦しむ人がいない世界
- ・戦争のない幸せな世界
- ・早く、戦争のない、平和な世界になってほしいです。

- ・戦争やいじめのないみな平等な状態
- ・争いごとがなく、互いの意見の相違を対話で解決できる。理由なく人が死なない世界
- ・戦争というものがなく、人それぞれをみとめ、助けがいる時に助けたり、みんなでつくりあげていくこと
- ・国どうしの問題事を、戦争で解決するのではなく、戦争によって悲しむ人がいなくなる
- ・多くの人が戦争をなくすこと。多くの人が笑顔でいること
- ・戦争がなく、だれもがしあわせだと思える世界
- ・戦争がなくなって、国の防衛費が“0”になるくらい、もっと人に優しく地球に優しく。
- ・戦争がない平等な世界、みんなが元気
- ・戦争はだめだと思います。
- ・戦争、争いごとのなく、世界中の人々が、みな幸せになる。

- ・世界の戦争がない。
- ・戦争にかかわりそうなニュースなどがなくなってほしい。
- ・けんかはあっても戦争のない世界
- ・戦争がなくてほかの国とも仲よくやっている。
- ・戦争や小さな争いが起きないこと。みんながみんな信用し合っていること
- ・戦争もなくけんかもないことが平和
- ・戦争がなく、私や他の人のまわりがたくさん笑顔であふれていること
- ・世界で戦争も差別もいじめもないこと
- ・これから、いっしょう戦争がおこらない国
- ・やっぱり戦争のない世界だと思います。
- ・戦争や差別がない、自由に暮らせること
- ・日本が過去に行ってきたことを知ったうえで戦争をおこさないように助け合いながら生きていく。
- ・戦争が起こっていない世界だと思います。なぜなら戦争が起こっていないということは、人々は不満がなく安心して暮らしていることだと思うからです。

争い

- ・争うことがない世界（5）
- ・争いごとのないこと！
- ・私にとっての平和は世界中から紛争がなくなること
- ・争い事がなく、衣食住にも困らないこと
- ・争いがなく、みんなが楽しくすごせること
- ・ケンカがなく、あらそいごとがない世界が私にとっての平和です。
- ・争いがなく皆が平和に暮らすこと
- ・争いがおこらない世界の人たちが手を取りあって協力できる世界
- ・争いや差別のない平和
- ・争いがなく。自由

- ・争いがなく。男女差別がない。平等。犯罪を犯さない。
- ・争いがなく犯罪もなく安心して暮らせること
- ・みにくいあらそいがないこと。動物たちも元気にのびのびとくらせること。食料にこまらないこと
- ・争いなどがなく、困っている人がいない。楽しく過ごせること
- ・争い事がなく、みんなが幸せ
- ・争いもなく、食べ物もあるし、学校でも家でも平和に暮らせること
- ・争いがなく平和な世界

何事もない生活 当たり前の暮らし

- ・みんながなかよく何事もない生活がおくれていること
- ・毎日学校にかよえること。なにげないことで笑えること
- ・毎日元気よく過ごせる。ごはんを毎日食べて、たくさん遊ぶ。気持ちよくすごす。
- ・穏やかな日常
- ・何も起こらない事
- ・今のような普通の生活ができている状態
- ・普通に生きていけることです。
- ・あたり前のように毎日同じ人などと会ったり会話できること
- ・あたりまえのように。
- ・なにげない日々の生活
- ・あたりまえの楽しいこと
- ・ケンカとか学校に行くとか一日一日が繰り返されていくことが平和だと思う。
- ・自分のやりたい事を毎日やりたい。
- ・毎日何事もなく過ぎていくことだと思う。（事故などなく）
- ・日常生活を送れること
- ・何事もなく静かな、みんなが笑顔
- ・当たり前のように生活ができる、自由に遊べる、争いのない世界、普通に話せる人がいる。

- ・何事もない普段通りの日々
- ・みんながあたり前の日常をすごせるのが平和

幸せ

- ・生きているもの全て幸せであること
- ・小さい子からお年より、人種関係なく幸せだと思えること。いじめなどがない世界。小さいことで苦しいとか辛いとか思えること
- ・世界の人々が幸せになること
- ・全ての人が幸せを感じることができる瞬間がずっと続くこと
- ・どんなときでも幸せに感じられる。
- ・一人一人が幸せ
- ・世界中の人が幸せ
- ・人も動物もすべての生き物が幸せだと思えること。武器などいらない世界
- ・みんながしあわせ！！
- ・みんなが幸せだと思える。小さな幸せ一つでもみなにあってほしい。

食べ物

- ・食が保障されること（2）（最初の争いは食の問題だったから）
- ・食料があること
- ・たくさん食べることができる。友達がいる。親がいる。家がある。ルールがある。
- ・食事ができ、学ぶことができ、遊べて笑顔でいること
- ・食べるものもあるし、争いがなくてみんなが幸なこと
- ・1日3食、おかしを食べれる、学校に行くことができる、家族、友達と一緒にいれる。
- ・衣食住がある。空がきれい。たてものがちゃんとある。
- ・家+食べ物、衣類などがある。

助け合い・協力・尊重

- ・お互いが助け合う世界
- ・皆で協力すること

- ・国どうしや人々が相手のことを尊ちようすること
- ・協力してきている世界
- ・世界中の国が協力し、よくしていく事
- ・みんなが話し合えて、みんなが楽しく幸せに生きられるような状態

平等

- ・平等な社会
- ・皆が平等
- ・すべての人が平等に安全に暮らせること
- ・僕にとって平和とは皆が平等に暮らすことだと思います。
- ・みんな平等な世界。人を傷つけない、他人を尊重する世界のこと
- ・みんな平等で、差別やいじめがない、争いのないこと

楽しく

- ・楽しく過です。
- ・明日が早くこないかとワクワクするような楽しみになることだと思う!!
- ・毎日が楽しくて毎日笑っていること
- ・楽しく暮らす、笑顔、人と人との争いのない世界
- ・楽しく生きていることだと思います。

殺さない殺されない

- ・誰も殺さない殺されない。人が命をうばったりしないこと
- ・人を殺さず地球の人々ときょうりよくしてにこにこ国どうしのできるようにしていきたい。
- ・殺人や犯罪のニュースがなくなること
- ・さつじんなどがないせかい
- ・殺人がおきない国

自由

- ・今みたいに暮らしが自由であること
- ・争いがなくて、みんなが仲良いこと
- ・自由、普通な生活
- ・人々が自由に幸せに生きれること

- ・自由
- ・自分の意見が自由に言える。

家族

- ・家族、親友がいること
- ・家族がいること
- ・家族、皆仲良し、いじめがない、食べ物が増えた、衣食住
- ・家族といっしょにいられること、学校でみんなと仲良くやっていること

安全

- ・安全でだれかがだれをも愛せる世界
- ・世界中のみんなが安全で健康に暮らせること
- ・ヒアリなどの外来種もたいじし、かくへいきもそんざいせず、テロなどのじけんがないということ

武器

- ・全部の国が武器を一つも持たず、たとえ争いがあっても話し合いで解決すること
- ・武器のない世界。戦争のない争いのない世界
- ・世界から核へいきがなくなること

緑

- ・緑がいっぱいある。(2)

【そのほか】

- ・愛でつつまれた状態
- ・思いやり希望
- ・全ての人が安心して暮らせること
- ・自由な国ではなく決まりがしっかりある国。死者が出ない国。周りの色があざやかで豊かな感じ
- ・すべての人が生きられる権利
- ・悪い話がテレビにうつらないこと
- ・仕事をして、自分自身が満足する気楽な生活
- ・にくしみのない世界
- ・人の手で苦しむ人がいないこと

- ・身近なものであるのと、すぐ遠く感じるときがある。何もない日常生活では平和だと感じるがニュースなどをみるとまだ、遠いと感じることがある。
- ・日本においては今は平和であり、この状態が続くことを願う。しかし世界的に見れば平和ではない。平和は人類の永遠の目標
- ・みんながみんな幸せになることは難しいけど、自分の利益よりも人のことを考えられる人がもっと増えることで平和になると思う。
- ・今は憲法改正が気になる。なにごとにもしんけんに、楽しむこと、学ぶことができるそんな社会
- ・国どうし、何の障がいもなく海外へ渡りあるけること。平和について考える時間があること
- ・いい状態になること
- ・人と人とのいいかわりをする
- ・苦しむ人が少ない世界をつくること
- ・おもったりよりもみじかにないもの。だから大切にしないとダメな物
- ・誰もが願うことだと思う。
- ・皆が同じ性格で皆が同じものが好きで、何もかもが同じの世界
- ・生きていく中で、とても大切だと思う。今の自分には平和じゃない日本が想像できないけど、世界の人にもこの幸せを感じてほしい。
- ・みんな仲良く過すこと
- ・警察がいない世界
- ・まず、隣の人の事を考え知ること。楽しく笑顔で過す。
- ・とりあえず人との（自分のまわりの）関わりを大切に。

学校、クラス単位で取り組んでくれたところもあり、学校での平和学習の様子もわかります。みなさん、たくさんの時間をかけて、「平和」について真剣に考えてくれました。一つひとつの文が、心に迫ってきます。以下、原文のまま掲載します。

自分はいろいろなことを知りたいのですが、教科書、または学校内の授業ではなかなか深く知る機会がありません。それに難しい文字や文章が多いためなかなか理解できません。ですが、今日展示を見ながら説明をしていただいたおかげで、少しだけですが分った感じがします。まだ気がするという程度なのでわからないことが多いですが、自分は〇〇についてはどう思うのか？そういうことについては考えることができると思うので、たくさんのことを調べ、疑問を見つけていきたいと思いました。今の自分が考える平和が良いか悪いかはわかりませんが、学んでいくことにきっと新しい発見があると思いますので、今後も学ぶこと、考えることをやめずに行動していこうと思います。

戦争の前、恐慌や飢饉で世界中が暗かったという話を聞きました。そのとき、今の日本や世界はどうなんだ…？と思いました。もっともっと社会や未来に前向きに希望を持てるようになったら平和に近づいていくと思います。そのために私たち高校生なりにできることを続けていきたいです。

まず戦争がなくなることはもちろん、そして、日々の日常の中でお互いを批判し合うのではなく、お互いを尊重できる環境をつくることだと思います。今までの私は、世界から戦争がなくなればいいのにな!! って思っていたけれど、私には戦争をなくそうと直接行動することはできません。だから、日々、自分が生活している中で、少しでも平和に近づけていけたらいいなと思います。例えば、誰か

が自分とは違う意見を言う人がいたとしても私はその意見とは違うけれど、この人はこう思うんだ！この人のこういう所いいな！とかって、普通なら反発するところを共感してみたりしたら、毎日いろんな考え方に気づかされながらすごしていけて、それがいつか世界の戦争を止める手立てになればいいなと思います。

ピースあいちに来て、学校では教えてくれないこと、教科書にのらないようなこと、勉強することができてよかったです。また、実物を初めてみることや資料や写真を見ることによって、これからもずっと忘れてはいけないと強く思いました。

みんなが幸せだと思えることだと思う。だけどそれはとても難しいことだと思う。難しいから諦めるのではなく、難しいからこそみんなで少しずつ平和だと思える人を増やしていけばいいと思う。今も世界のどこかで戦争が起きていて苦しい人、悲しい人は私たちが知らないだけで、きっと沢山いる。その人たちに幸せだと少しでも思ってもらうには文房具を集めて送ったり、募金をして学校をつくったりすることなど、遠くにいてもできることはたくさんある。だから平和のために私たちは世界で起きていることをたくさん知って、そして何ができるのかを考えて実行する事が大切なのだと思った。

私が平和のためにできることは、人の心に詳しくなって、困っている人がいたらその人に合う方法でその人のことを理

解することだと思います。人の心に詳しくなくても、悩んでいる人や困っている人を助けることはできると思います。でも私はその時にもっとたくさんの知識を持っていればもっとその人のことを解ることができるのなら、人の心を詳しく学んでみたいと思いました。知識があれば、見えなかったことが見えてくる場合もあるし、その人を深く理解できるかもしれません。なので私は人の心をもっとよく学んでみたいです。そして、こう思うことで少しでも平和のためになっていると思います。

戦争や差別や貧困などで苦しむ人々が誰一人いないのはもちろんですが、誰もが毎日を暮らせて楽しいと思えるような世の中になることです。人間だけでなく動物や植物、地球までもが喜ぶくらいの素晴らしい世界になってからこそ本当の「平和」だと思います。その「平和」を実現するために私がまずしなければいけないことは、今の世界の状況を理解することです。「今もなお戦争などにより苦しみ、悲しみそして死んでいく人がいる」「人間がする行動により苦しめられている動物、植物、地球がある」これらのことをよく理解するべきだと思います。そして、理解した上で少しでも多くの人に伝えていく。そのことがまず私たちにとってやらなければならないことではないのかと思います。

みんなが幸せだと言えることだと思う。私は幸せです。なぜなら、毎日笑って過ごせるし、何よりも当たり前明日がくる。そして私の周りの人もたいていは幸せだと思う。しかし、世界には戦

争、紛争、治安の悪化によるテロ、その他にも差別などで苦しむ人びとがたくさんいる。この人たちを幸せにすることはまだ私にはできない。今の私にできることは身近な人で苦しんでいる人を助けることだと思います。悩みがあれば一緒に悩み、解決していき、困っている人がいれば手伝っていきたい。そうすれば小さな幸せが少しずつ大きな幸せになり、幸せな人が苦しんでいる人に手を差し伸べて、幸せにしていき、それが広がっていくと思う。

戦争がなく、みんなで笑っていることだと思う。戦争がなければ、罪のない人が死ぬこともない。家族が戦争によって死んじゃって悲しむこともない。笑うと自然に自分の気持ちが幸せになる。みんなが幸せになれば争い事もなくなって平和になる。だから私にとって平和とは、戦争がなく、みんなで笑っていることだと思う。平和のために私ができることは、少しの人でも多く笑顔にするために、困っている人がいれば自分のできることは全てしてあげる。また、自分も笑顔で毎日を過ごすことだと思う。

戦争によって死ぬ人や生きるのがつらくて自殺する人がなくなるのが平和だと思います。戦死者も自殺者も皆が減らそうという意識を持てば減ると思う。国と国との問題はそう簡単に解決できるわけじゃないけど、戦争をやるのではなく話し合いで決めたりしたら戦死者も減ると思う。人がつらい時に誰かが寄り添ってあげれば少しは気持ちが楽になると思う。そうすれば自殺する人も減ると思う。戦争をなくすとかはできないけど、誰かが苦しんでるときや、つらい時に一緒に寄り添うことはできると思う。だから私は、そういうことをしてつらい気持ちではなく楽しい気持ちにしてあげられたいと思います。

自分は有名な人でもないし、大した行動はできないけれど、世界が平和になるには一人一人が平和になってほしいと願っていないければ平和にならないと思う。日常生活の中で、普段何事もなく生活しているけれど、その普段の生活ができない人たちもいるということをよく知っておかなければいけないと思う。普段の生活を送ることができない人たちは、けんかをするすらできない。私たちは友達や家族とけんかしたりするし、それはあまりよいことだとは思わないけど、かえって意見を言い合うことで納得できることが増えたり、視野が広がって様々な観点から物事を考えることができると思う。だから、私は、普段の生活で意見を交換することが平和の一步につながるのではないかなと思う。

私は戦争を経験したり友達に兵士がいたりするわけでもないです。なので経験者から話を聞くことでしか戦争の辛さなどが分かりません。でも普通に殴り合ったり叩き合ったりするだけで身体は痛いし、悪口を言われるだけで辛い気持ちになります。戦争はそんなレベルじゃないと思います。なのに私よりも小さい子供達やその子の親などがつらい思いをしていると思うと、本当に戦争ってよい事ではないなと思いました。小学生の時、もしあなたが大人になって兵士に連れてかれて兵士になるか今ここで殺されるかどちらかを選ぶか聞かれたとき、私はもしもの話だけど、戦争が行われている国ではこんな選択をしなければいけないのかと知り、とてもショックを受けました。その時私には戦争は程遠い存在だったので、真剣に考えたり、事実を知る必要もないと思っていました。ですがこの選択の話を聞き、平和についての意識が芽生えました。私が平和のためにできることはたいして何もないけど、戦争について

知ることが大切だと思います。

自分の周りの人やまたその周りの人が笑顔でられることだと思います。笑顔は周りの人を幸せにしますが、それだけでなく心からの笑顔は自分自身の病気にも良い効果があるそうです。それに心から信頼し、何でも相談できる人がいれば、悲しいことも相談することができて、少しはスッキリするんじゃないかな？と思います。

戦争がない自由な世界だと思います。戦争がおこると自由がなくなります。自由ではないことはとても私はいやだと思います。しかし戦争がなくなれば戦争があるときより自由になります。だから戦争はだめだと思います。平和のために自分ができることは、自分とは違う意見を認めることだと思います。例えば宗教とかで違う神でも相手のことを認めることができたなら宗教による戦争はなくなります。なので私は、自分とは違う意見も認めることが大切だと思います。そして私も認めていきたいと思います。そしたらすこしでも平和になるのではないかなと思います。

平和ってきいたらすごく大きなものというイメージが強い！私一人が何かを頑張ったところで世界は平和になんてならないと思っていた。けど今は違います。一人一人の努力を積み重ねることが平和につながっていくのだと私は思う。だから私は、まず人とのコミュニケーションを大切にしたいと思う。人と話すことで笑顔がうまれ、幸せな気持ちになるのです。だから私は友達とのなにげない会話の一つ一つを大切にしたいと今は思うのです。大きなものを解決するにはその下にある小さなものを達成していくべきだと思う。一人一人が笑顔になるために必要なことを考え、笑顔の輪を広げ

ていくことが差別や貧困、戦争をひも解いていくのだと思います。私にとっての平和。それは一人一人の小さな積み重ねと笑顔です。一人一人がこのようになると、今よりもっとみんなが平和と言えるのだと私は思う。

皆が平和に気づいていないことです。平和が終わって初めてきっと人が、あの時平和だったなあなんていうのです。私の望む平和とは、皆が今日も一日充実していたな、楽しかったと毎日思うことができることです。ただ、あまりそれは実現できません。なぜなら楽しいが日常になるとそれが普通になるから。だから私が望みたい平和はもっと良くなろうと人々が向上する社会、希望を持つ人の多い社会です。今よりもっと〇〇に！これからは〇〇にしていこう、など。もっともつとを求める人がいることで世界は少しずつ変わっていくと思うからです。時にはつらいことはあっても、みんなでよくなるために動けば、うまくいくこともきつとある。そうやって希望を持てる環境であることが私は平和だと思います。そのために私は平和を望み続けます。そして言葉にしていきます。それを人に伝えることで、もし誰かが平和について考えてくれたのなら、それは私にとっての平和になります。

世の中で戦争や論争が起きず、皆お互いに助け合い、支えあい、笑顔でいる世界だと思う。今の世の中は国どうしの対立や争い、貧しくて生活困難な人（食べ物やお金がなくて困っている人）があふれています。このような状況をいつまでも作り続けていては、もちろん笑顔も平和な世界も作れません。これらの事を考えたうえで私は、一人一人が普段から優しく大切にすることを必要があると思う。時にはけんかをしたり、恨んでしまう時もあるが、普段から家族や友達の気

持ちを考えて行動できる人にならなければならないし、自分もそういう人になりたい。一人一人がこれらの事やそういう人になれば、自分も相手も、拡大すれば皆（世の中）が笑顔で幸せな世の中を作れると私は思う。

幸せに笑顔でいられることです。困っていたり苦しんでいたたり楽しくないときには心の底から幸せだとは思えないし、笑顔にはなれないからです。貧しくても笑って暮らすことができれば、それは幸せであり平和です。今は笑顔ではなく泣き顔の人もたくさんいます。泣いている人がいる限り、世界中が平和になることはできません。泣いている人が泣いている人に寄り添うのも良いけど、笑っている人が泣いている人のために寄り添って、時には泣くことも大切だと思います。そうすればもっと平和になると思いました。私が平和のためにできること…自分⇒平和の直行は無理だと思えます。でも自分⇒幸せ⇒笑顔を経たの⇒平和なら行けそうな気がします。困っている人を助けて、笑顔にすることが平和への第一歩だと思います。そしていつかは平和が実現するといいなと思います。

自分の思ったことを発言発信できる世の中です。私はまだ今の世界が平和だと思っていません。なぜなら、日本ではこのような授業もあったり、沢山の友達がいればいい平和に近い状態であると思うけど、もっと広い目をもって見ると、今の私のように問いかけられたらそうでないという人が必ずいるから。私にできる平和につなげることは、世界の困っている人が今何を必要としているのか知ることだと思います。またそれを人々に知ってもらうことです。私たちには強い人が弱い人を助ける、またその逆でも助け合いが必要です。助け合うためにはまず、その人を知ることが必要だと思ったから

です。このような平和について考えること一つ一つを一人でも多くの人に読んでもらうことが平和につながる第一歩だと思います。

平和と幸せは少し違うと思います。幸せは誰かの不幸によって成立するものです。平和だから幸せ、幸せだから平和、ではないと思います。平和とは人の心を平均するものだと思います。例えばAさんが10コもっているものをBさんは2コしかもっていないとします。そこで10コもっている人が4コをBさんに与えることでBさんは6コになりAさんも6コになります。そしてまた増えたり減ったりをくり返し、みんなが10コもらえたときに平和が成立すると思います。誰かの幸せを願わず、誰かの不幸も願わないのが平和で、誰にでも与え、誰からももらうことができる。他人だから、嫌いだからではなく、人である以上、与えてほしい人に与え、もらいたいときにはもらうべきだと思います。「ありがとう」「どういたしまして」の心が大切だと考えます。

私にとっての平和は、お互いの気持ちを思いやることですが、ケンカになった時や、何らかの理由で対立した時、頭にきて酷いことを言ってしまうかもしれません。思いやりの言葉が頭から抜けてしまうことは当然あると思います。だから、私が平和のためにできることは、そういう時に「本当にそうか？」と疑問をもつことだと思います。「自分が絶対正しい」と思って対立したけど、冷静になって考えてみれば、案外そうでもないことが多くあります。少なくとも私はそうでした。「落ち着いて考えてみれば私もわかったじゃん」と思えば、自分から謝ることもさほど苦ではないと思います。そうなれば、さらなる対立を生まず、和解に話を持っていくことも難しく

はないと思います。また何かで失敗してすぐ落ち込んだ時にも使えると思います。「自分はもう終わりだ」と思っている、「本当にそうか？」と思い冷静に考えてみれば、少しは気持ちが楽になるかもしれません。なにより終わった時間は戻ってこないのだから。私が平和のためにできることは怒った時、落ち込んだ時、負の感情で頭がいっぱいになった時に「本当にそうか？」と思うことだだと思います。「本当はそうではない」時の方が案外多いものです。

毎日、普通に生活できることが平和だと思う。戦争などの殺し合いが起きないことも平和だと思うけど、それよりもまず友達とおしゃべりしながら過ごす日々、コンサートや舞台を観に行くことができる日々。そんなありふれた日常こそが平和につながると思う。また、政治のことなどをきちんと学んだり、関心を持つことも大事だと思う。国の政治家がきちんとしていないとその国が全体的に悪くなっていくと思うからです。戦争しよう！と決める人の気持ちを知りたいです。戦争しなくても、楽しい毎日がおくれますよ～！ということを教えてあげたいです。

どんなに小さな事でも心配になることがあるから、その人の心に少しでもよりそってあげたり、自分にできることがあるなら、それをやってあげられるようになりたい。どんなに嫌いでも、その相手にやさしくしてあげることができたら。その人からか、別の人からかもしれないけど、自分がやさしくすることができた分だけのやさしさがいつか絶対に返ってくると思います。自分のことばかり考えて、どんだけ頭がよくて完璧な人でも、その人が思いやりをもっていなかったら、友達も少ないだろうし、頼られることも少ないと思います。だから、私は自

分のことよりも相手のことを大事に思って相手のために行動してあげられるような人になりたいと思います。

私にとって平和とは、世界平和のような大きな平和もあるけど、私にとっての平和は！と聞かれると、日常の中の小さな平和がたくさん思い浮かびます。それは自分が恵まれているからであってみんながみんなそうではないのかもしれないけど、毎日過ごしていく中で、平和だなと思える事を大切にしたい。

特別いい状態ですぐだけじゃなく、普通に平穏で毎日が暮らせる状態で、世界中の全員がいきているのが完璧な平和だと思う。それは難しいが、平和にできるだけなるように考え、努力してみることも平和につながると思う。自分の周りの人が笑顔で幸せだという状態になれば、お互いの平和をいっしょにつくるといことだから、私は、このような平和をつくりたいと思いました。

私にとって平和とは、まだ具体的にわかりません。平和はものでもなければ、断言することができないものです。個人で平和思うことができれば、その人にとっての世界は平和なのです。最近日常でふと、「幸せだなあ…」と感ずることが増えてくるようになりました。きっとテレビ等で世界の様々な人の生活、貧しい生活をしている人を目にするようになったからです。彼らが決して幸せではない、というわけではありませんが。大変な生活を送っている、戦争や争いなどで悲しむ人がいなくなる世界が平和だと思います。戦争などは国という大きなものになってしまうから、私がやってもあまり変わりません。しかし身近なところだったら…。一人一人の意識によって変えることができると思います。私ができることは、思いやりをもった行動で

す。席をゆずるでもいいし、荷物をもってあげるでもいい。言い方に気を付けたり、相手の立場に立って考えてみるのが大切だと思います。

自分にとって平和とは、おだやかな日々です。嫌なことを考えず楽しいことしか考えないで好きなことをしてるとき、平和だと思っています。あと、戦争などで毎日がおびえたりしないで生きているのは平和だと思います。他の国では毎日毎日おびえながら生活している人もいますけど、日本に住む私たちはめったにおびえたりしながら生活することはないと思います。平和のためにまず考えることが自分にできることかなって思います。それから行動していくべきだと思います。自分にとっての平和と、今、平和に暮らしていない人の平和の考えは全然違うと思います。だからまず現地にいてその人たちににとっての平和をきき、自分にできることがあったら実行していきたいと思いました。

私にとって平和とは紛争やテロがない状態と言ったけれども、それだけに限らず、世界中の人々が明るく元気に過ごすことも平和だと思う。平和は大きな平和と小さな平和に分けることができ、小さな平和が積み重なって大きな平和になると思ったからです。一人一人の笑顔が増えればそれも平和になると思う。

私にとって平和とは、毎日同じような日々をおくること。けれど、それは毎日争いが起こってはいけけない。1日争いがなく、楽しくはなかったけれど苦しくもなかったという日々があったら、それがずっと続くことが一番良いと思う。そのためには、その1日を作り出す必要がある。少し自分の行動を変えることで、その1日が良くなるかもしれない。例えば、自分の伝えたいことをしっかり

伝えたり、小さな努力をしてみたり、誰かの助けになってみたり。それらは中学生である私たちでも充分できること。今、私がいる日本は平和だとかんじるけれど、私たちがそれらの努力をすることは何かの役に立つと思う。

私にとっての平和とは、戦争や格差（人種差別や貧困など）がない、皆の“命”が平等な状態です。私は今この世界ははっきり言って、平和ではないと思います。なぜなら、今もどこかで必ず、戦争や紛争がおこっている。また、アフリカでは貧困で苦しんでいる人達がいるからです。こんな世界を平和にするためには戦争や格差を何とかしなければならぬと思います。戦争を止めることは、まずあんまりできないと思います。いくら私達が平和を求め続けても、他の人やよその国を攻撃する人達はやめないのではないかと思います。でも、戦争について考えるということは非常に大事だと思います。格差のほうは私達が人種差別をしないということではできると思います。でも、世界で人種差別が0になるかということ、よくわかりません。貧困については、私達には何ともできないかもしれませんが、アフリカで栄養失調で病気になっている子供達を救うために献金するということではできると思います。皆がそれをすれば貧困にくるしんでいる人達は少なくなるかもしれません。

私にとって平和とは、戦争、テロなど人を傷つけない世界です。人を傷つけたいなら平和ではないと思います。世の中を平和にするために私はまず、自分自身を知り、まわりの人たちにやさしくしていくところからはじめるのではないかと考えました。平和をつくっていくことは自分自身がピースメーカーになるということで、ピースメーカーになるにはまず自分自身と向き合わなくてはいい

くないと思います。そして相手のことも考えて、自分がもしこんなことをされて嫌だなと思うことはしないなど、そういう小さな考えから平和は生まれていくのではないかと思います。なので私は自分自身を知り、まわりの人にやさしく接していくことを心がけたいです。

私にとって平和とは、世界中の全員が平和について考え行動し、争いごとをなくし、みんなが笑顔になることだと思います。世界中に平和を広げていくためには、まず自分のまわりから平和にしておく必要があります。例えば、困った人がいれば助ける。争いごとや、けんかがおこらないように、少し自分ががまんする。など、すぐにできることはたくさんあります。自分の発言が争いごとをまきおこす原因になるのかもしれませんが、1つ1つの物事にもっと責任を感じ生きていくことが大切だと思います。

私にとって平和とは、毎日が充実しているような状態のことだと思います。なぜなら毎日が充実したと感じるということは満足したということです。誰でも自分に不幸を望むという人はいないと思います。なのでみんな良い結果ということで平和だと思います。充実といっても「楽しい」という事だけが充実では無いと私は思います。「勉強する」ということも自分の実になっています。また「悲しむ」ということは一見充実していないように思えますが、いろんな感情があるということは「生きている」ということがすごく感じられるということだと思います。特にマイナスな感情がすごく分ります。平和のためにできることは、「今を楽しむ」「相手を知ること」だと思います。相手を知ることによっていろいろな視点から考えられるため、最善な方法が見つけられます。でも私は「今を楽しむ」が一番大切だと思います。

まわりをよく見て行動する。先を見こして行動できる人になる。自分中心の考え方を捨てる。心をキレイにする。まわりの人にやさしく接する。ポジティブ人間になる。空気を読める人になる。人が悲しむようなことはしない。ルールを守る。

私にとっての平和とは、他の人たちと一緒に生活していくことだと思います。そのためには他の人のために何かをやるという考えだと思います。それは自分の世界をすこしずつ広げていくことで、なにかやれることが見えてくると思います。世界を広げていくことで自分が学ぶことも多いと思います。その1つ1つをつみかさねていくのだと思いました。

私にとって平和とは、世界のすべての人が幸せに、そして笑顔になること。戦争に巻き込まれたり、住む場所がなかったり、きれいな水が飲めなかったり…。世界では私たち日本人のように豊かな生活ができない人たちがたくさんいる。うまれてまもない子たちが次々と命を落としてしまう。戦争を今すぐやめることはできないのかもしれないけれど、きっといつか戦争という恐ろしいものはなくなるはず。みんな戦争はしてはいけないという思いをいだいているのなら。ほんの少しの気持ちがたくさんあつまれば大きな力になると私は思います。平和は戦争の無い世界なんじゃなくて優しさをもつ世界だと思います。ほんのささいな悪口やかげ口、そこからもうすでに平和ではないと思います。小さなことで、傷つく人たちはたくさんいる。だれも傷つかない、だれも苦しめない、楽しくて豊かで幸せで笑顔あふれる。それこそ、平和なのかなって思います。

戦争をとめることはできないが、そこ

で苦しんでいる人を少しでも楽にできることはある。よくレストランやスーパーなどでアフリカなどに届けるための募金箱が設置されている。少しでもそういう機会があったら募金したい。ペットボトルのフタや注射の針を収集しているところがあれば持っていきたい。

私にとって平和とは、人々が“幸せ”と感じ、少しでも表情に出せるような世界のことだと思います。表情に出したら何か罰をされる国があるかもしれないと思うからです。人々が“幸せ”とを感じるようにするために、私たちは少しずつ行動をおこしていくことが大切だと思います。また“感情”というものが大切なんだということ、自分達の好きなように表現できることを私たちが少しでも広めていけば、少しでも考え方をかえることができるかもしれないです。私は、少しずつ行動をおこすことが自分でできることだと思います。

私にとっての平和とは、誰も殺人や自殺などで亡くなることのない状況です。日本では1年間で何人もの人が殺害されたり自殺したりしています。殺害とはもちろん殺してしまった方も問題がありますが、殺された方も問題があると思います。「誰でもいいから殺す」などは別ですが、たいていの場合殺される理由があります。そして大体の場合「～の時ムカついた」などです。自殺も同じです。「いじめられたから」などが多いです。つまり、普段の生活からいじめを消し、ケンカなどは話し合いで解決し、人の悪い所ばかりでなく、良いところを見つけてくれば嫌いになることなんてないです。そして世界が平和になります。

1人1人の生きる世界がその人にとって良いものになれば世界全体としてもよくなると思う。心が元気なら悪いことを

してしまうこともないと思うし、いろんなことを気かけれるようになると思う。周りの人のことも見るためには、まずは自分を整える必要がある。きちんと自分と向き合って何が本当に大切なのか、正解なのかを考えることができれば悪いことも減ると思う。だからまずは自分を大切にしないといけない。一生付き合っていく自分を好きになれないのに他を好きになるのは難しい。ポジティブに明るく生きれたら明日が来るのが楽しみになる。まずは、どうやったら沈まず、元気でいれるか自分なりのやり方を見つけることが重要。

「世界を平和にするためのささやかな提案」。人のことが嫌いにならないようにするために人とあまり深くかわらない。仲良くはする。人の前でキレない。だれか尊敬できる人をつくる。ポジティブになる。自分のことばかり考えない。KUMAMONを好きになる。ふなっしーを好きになる。なばーくんかわいい。

全ての人が幸せを感じる状態のことです。それはきっと、差別や偏見がある状態では成立しないと思います。自分にできることは、人を悲しませないことと、苦しんでいる人を救うことだと思います。多くの人を救うことはできないと思いますが、みんながすることできっと少しずつ平和に近づくとと思います。

小学校の時にもこのように「平和とは」という作文を書きました。私はピースあいちの近くの小学校に通っていたので、小学校の頃、ピースあいちに行ったことがあり、おはなしを聞いて、平和のためになにができるだろう、と考えたことがありました。でも、いろいろ悩んでも中学校、小学校の私たち一人が何を言っただって世界全体が平和になるなんてことない、と思いました。でも、考え

るだけ考えようと思いました。考えた結果、平和とは「今生きていること」であり、どうしようもないとわかりました。今生きていることが幸せであり、平和とはつくるものでなく自然になるもの。人間だけでどうかできるわけじゃない。平和のために自分ができることといえば、今生きているこの時間を笑顔で楽しく過ごすこと。確かに苦しい時もあるけど、笑っていれば何かいいことがある。そういう風に生きていった方が人生楽になると私は思う。

国と国の領土問題などがなく、戦争のない状態です。平和のためになにができるか。もちろん戦争とかはなくなってほしいですが、自分の意見で国の問題を解決できません。ですから、平和のために自分ができることは、小さな平和も喜ぶことです。小さな平和とはいろいろあります。例えば、休日に友達と遊んだこと、家族旅行もしたこと、長い休みに祖父母やいとこと会えたこと。他にもいろいろあると思うけど、小さな平和も喜ぶことができれば、笑顔が増えるし、笑うことは不幸になりません。小さくても平和があることは幸せだと思うし、それに気づくことは大切だと思います。

世界の人が安心して暮らせて、笑顔でいられることだと思います。私たちは当たり前に暮らしているけど、すごく幸せなくらしをしていると思います。だけど世界には貧困な地域や国があって生きること大変な人がいます。その人たちは苦しんでいるけれど、笑っていられるときもあると思います。なので私は笑顔で暮らすことが大事だと思います。そして周りの人も笑顔になって、世界中の人が笑っていられる状態になったらいいと思います。

みんな笑顔で楽しい世界です。悲しい

こと、あまりよくないこと、たくさんあると思うけど、その中でも少し顔がほころぶことができれば平和なんじゃないかなと思います。

自分だけでなく世界中の全ての人が自分が幸せだと思えることです。私は今も世界のどこかで戦争をやっているとは知っていても、詳しくは知りません。なぜなら知ろうとしないからです。自分が今幸せだからです。私はこれからもっともっと詳しく世界の現状を知って、それによって自分にできることがわかると思います。私たちと彼らの違いは幸せであることへのありがたみです。私たちは日頃から「学校つまらない、行きたくない」「死ね！」など幸せであることを当たり前だととらえて言ってしまうがちです。その私たちの日常を過ごせない人がいます。いつも死の危険にさらされている人がいます。私たちはその人たちの事を考えず、ありがたみをもつことを忘れてしまいます。私は幸せへのありがたみを持つことを忘れないようにしたいと思っています。その人たちの事を心にとめて一日一日を大切に生きていきたいと思っています。

人々の笑顔が絶えないことだと思います。私は今、これまでもとても平和な人生を歩んできました。たくさんの良い友達に囲まれ、優しい家族がいて、辛い時にも支えてくれて毎日笑顔で過ごしています。でも、こんな普通の日常も誰かにとってはすごくうらやましいとおもえたり、家族や友達がいなくて、帰る家もなく、美味しいごはんも食べられなくて、毎日毎日人を殺して殺されて…。平和な生活を送っている私たちには想像もできないけど、これが当たり前になっている人もいます。私はこんなに苦しんでいる人を全員救うことはできないけど、少しでも苦しむ人に安らぎを与え、笑顔

にすることのできる人になりたいです。まずは身近な人でも悩んでいる人にやさしい言葉をかけてあげる。これが平和への第一歩なのではないでしょうか？

私にとって平和とは、世界みんなが笑顔で過ごせるような状態です。しかし、世界のみんなが笑顔になるのはすごく難しいと思います。世界の戦争をすべて止めたり、すべての子供達が学校に行けるようにするためには、私は世界で一番偉く、一番お金持ちにならなくてはなりません。私はそんな人にはなれません。でも私は、平和のために周りの人を笑顔にすることならできると思います。もし、世界の人みんな一人一人が周りの人、自分の家族や友達を笑顔にしようと頑張れば、世界は平和になると思います。人を笑顔にさせるためには、その人の事を考えなければなりません。世界の人みんなが自分以外の人の事を考えれば平和になると思います。

世界中の人が安心して仲良く生きることができるような状態です。そのため私は大きなことよりも小さなことに目を向けたいと思います。小さなこととは例えばクラスの子が困ったら助けてあげたりするようなことです。私がそのような行動をしようと心がけることによってクラスの子の意識がかわって、世界中の人が優しい気持ちをもって生きようになったらうれしいです。そして世界の中には貧しかったり戦争をしている国がまだあります。私たちはそのような国にも目をむけ、毎日の朝の礼拝でも祈ることができます。口で言うのはとても簡単で実際にやることは大変なことです。でも実際に行うことによって少しでも未来の平和のための力になればよいと思っています。

思いやりをもって人々が助けあい協力

することが大切だと思います。私たちのように好きな物を食べたりなんでもできるのとは対照に、とても貧しい国で懸命にくらしている人々もいます。そういった人々のために笑顔を届けることが私たちにとってとても大切なことだと思うのです。自分が使わない、いらないと言ってゴミ箱に捨てているものも、貧しい人々にとってはとても欲しいと思います。なので、私たち一人一人が協力して行動に移さなければならないと思いました。

地球のように丸い形をしたものだと思います。四角のように気持ちがカクカクしていたら相手もイライラしてけんかになってしまうと思うからです。みんなが丸くやさしい気持ちを少しでも持っていれば、周りにいるイライラしている人にも変化が見られると思います。楽しそうな人を見ると私も少し楽しい気持ちになります。とがった気持ちがあってもそれより大きな丸い気持ちが大切だと思います。また、ずっとだまっていたは会話は広がらないと思うので、自分から人に話しかけたり、多くの人と話し合うことが平和になることにも必要だと思います。なので私は多くの人と関わりを持っていきたいです。

たくさんの意見を持った人がお互いを認め合って共生している状態です。自分とは違う意見だとさけてしまうと、それが差別となり相手を傷つけてしまいます。同じ人間なのに一方が優劣になっている世界は恐ろしく、例え正しくてもその中にはたくさんの考え方があります。私は大人から平和について教えてもらっています。しかしその平和は自分が思う平和と全く同じなのでしょうか。生きてきた時代が違い視点も違う。効率化が求められている今、私が思う平和は時間をとっても使い、世界的には無駄な事かも

しれません。しかし、平和でない今、効率化重視で考える世界が間違っていると私は思います。平和に定義がないからこそ難しく考える必要があると私は思います。私が出した考えは平和につながるかは分かりません。それでもこの世界を平和にしていけるために、物事をあらゆる視点から見て結論を出すことで、お互いを認め合い共生できると私は思います。

誰もがキレイな心で優しい人になることです。しかし、この先そんな世界は来ないと思います。もちろん優しくて親切な人は数えきれないほどいます。でも、その人たちとは反対に、意地悪で優しくない人たちも数えきれないほどいます。私は、平和な場所はたくさんあるけど、世界には悲しみに包まれている人たちがたくさんいる、平和ではない場所もたくさんあると思います。平和のために自分ができることはまわりの人たちに優しくすることです。それによって少しでも優しい人が増えたらいいなと思ったし、その人が傷ついていたなら少しでも力になりたい、助けたいと思ったからです。そう思う人たちが増えれば増えるほど、平和な世界に近づけると私は思います。

誰もが安心して安全に仲良く暮らせるような状態です。どこかの国がどこかの国の事をとても憎く思い戦争をするようでは、本当の平和はいつまでたっても訪れません。しかし、そのような事は簡単に解決できません。私はそんなに大きいことはできなくても、身近に平和につながるようなものはたくさんあると思います。例えば、あの人が困っているから手伝ってあげよう、とか、あの人に席を譲ろうとか。日常無意識にしていることも平和につながるのだと思います。私が平和のためにできることは広い心で人と関わることです。相手の気持ちも考え行動することは、やがて平和な世界を生み

出すと思います。私も平和のために行動する一員になりたいです。

それぞれの好きな物でつくっていった世界を壊されないような状態です。それは決して相手と同じように共感しろということではなく、自分と相手は違うけどこういう人もいるんだとまっこうから否定しないということです。つまり、自分がすべてだとは思わないということです。私が平和のためにできることはほとんどないです。でももし、できることがあるのなら、自分の周りの人の平和をつくってあげたいと思います。広い視点での平和をつくるのはとても難しいことなので、友達や家族の喜ぶようなことをしていきたいです。それぞれが平和だなどと思うことを地道にやっていったらそれでいいと思います。

戦争や貧困で苦しむ人が、悲しんでいる人がいない状態だと思います。今苦しんでいる人が数えきれないほどいるので、平和だと思いません。世界には貧困などの理由で勉強がしたくてもできない人がたくさんいて、自分が学校に通えていることはとても幸せなことなんだとおもいます。だから、当たり前ことは一つもなくてささいなことで怒ったりしている自分が恥ずかしくなります。コンビニや学校などに設置されてる募金に協力したりボランティアにも参加するとか、私が平和のためにできることは少ないけど、今、学校で勉強できていることに感謝しながら生活したいです。

この地球上にいる生き物が人間によって殺されたり数が減ったりせずに幸せに暮らすことができるのだと思う。実際にそのようなことについての対策をしているのはいいと思う。例えば動物保護区域を作ることなどだ。しかし、日本の田舎の方では民家の畑にイノシシが入って

くるので殺したり捕えたりしている所も数多くある。人間はイノシシが悪いように言っているが、本当は人間が本来動物たちが住んだりしているところを無理やり奪い取ったがためにイノシシは食べ物も住んでいるところもなくして民家の畑に入ってくるのである。かわいそうだと私は思う。自分にできることは木を植えて動物達の住むところを作ってあげることだと思う。

自由に自分の思い描いている人生を送ることができる世界です。しかし、戦争をしている国の人々は自由に行動できなかったりして大変な思いをしています。なので私が今すぐにできることというのは「その人のことを考えること」です。すぐ行動におこすことができなくてもその人たちのことを多くの人が考えることで、その中の一人でも行動に移す人がいるはず。なので大変な思いをしている人がいるということを広めなくてははいけません。広めるためには多くの人がこのことを知り、これについて考えなくてはならないと思います。私が今すぐできることは「考えること」です。一人でも多くの人がこのことをもっと知ってほしいです。

社会に貢献する人々がたくさんいる状態です。でも私はまだ社会には貢献できないので、できることといえば学問にこそしむことだと思いました。知識が身につけばいろいろなことに役立つと思うからです。

皆がいつもと変わらない日常を送ることだと思います。戦争がおきたら、学校にも行けなくなっちゃうかもしれないし、自分の家がなくなるかもしれない。勉強がしたくてもできなくなると思う。今でも戦争をしている国は少ないけど、あると思う。そういう人たちはきっと、

私たちがいつも生活しているこの日常がとてもありがたくうらやましいと思う。なぜなら勉強もできてテレビも見れる、ゲームもできるし友達と楽しい会話もできるからである。だから私にとって平和とは、いつもと変わらない日常を送れていることである。

皆が他人の幸せを望み、他人の気持ちを考えて行動できる人が沢山存在する世界だと思います。他人の気持ちを考えて他人が嫌だと思ふことをしなければ、いじめや戦争も起こらないと思います。他人の幸せを望んで行動することは難しいことだと思います。しかし、一人一人が他人の気持ちを考えて、例えば自分の今思っていることを口にしたら相手は傷つくだろうなどと考えていけば、相手の幸せを望むということにつながると思います。私も、できるだけ他人の気持ちを考えて行動することが平和につながるのだと思います。

人と人はいろいろな人がいて「この人いやだな」とか思ってしまうけど、しっかりその人のことをみてみるといいところを知ったりできるから、のんびり人と付き合うことによって平和になると思う。そして心に余裕を持つことによってすごくイライラすることとかも少なくなるし「嫌だ」と思ふことも受け入れることができると思う。そのためには休むことが必要だと思う。でも休みすぎてはいけないと思う。

戦争がなくて貧困があまりない状態のことです。日本には戦争はないけど殺人事件などがあるし、アフリカのあたりには貧しい子供達が多くいます。だから、私は今の世界は平和でないと思います。平和のために私はまず小さな争いからやめることから始めたいと思います。小さな争いとは、例えばケンカのことです。

力をするとあいてを憎んだりしてそれが殺人につながってしまうなんてこともあるかもしれません。だから私はケンカを少しでも減らして、してしまったら自分が悪くなくても自分から謝ることを目指したいです。

今は平和だと思ったり、そうでなかったりします。私の今日1日は平和です。ただ明日もそうだと100%は言い切れません。また、私が平和と思う1日を過ごしている間、地球上全ての人が同じように感じているとは思えません。世界がどうして絶対に平和にならないようなシステムになっているのか知りたい。平和のために私ができるのは何かに祈ることだと思う。私にとっての平和は、全ての人が自分自身の欲で自分以外を悲しませていない状態がずっと続いていくことだと思います。

私にとって平和とは、殺される、死ぬという恐怖がないこと。戦争中は「明日、自分は死ぬかもしれない」という死への恐怖が毎日続いていたと思う。洗脳されてたから、思わない人もいたと思うけど。そう考えると、今の私たちは「明日、殺される」なんて死への恐怖が身近にあるわけではない。悪いことをしている人達は知らないが。今の私たちは死への恐怖を毎日かかえてすごしていないから平和だと思う。私が思う平和のためにできることは悪いことはしないということ。

私にとっての平和は、毎日笑って過ごすことができる状態だと思う。しかし、他の人にとっては私の思う平和は不幸なことかもしれない。私達はいろいろなことを考え思いをもっている。例えば、私が言った言葉で相手が傷ついているかもしれない。そう思うと私が思った事が否定されたと思う。思ったことを

声に出すのはとても大切。しかし、言うてよい場合と、良くない場合がある。いろいろな考えがあるからいじめが起こるのだと思う。「じゃあ、いじめをなくすためには？」と言われると何も言えない。だから、その策を考えるのも一つの平和なのかもしれないと思った。

私にとって平和とは、誰もが心から笑顔でいれることだと思う。平和のために…人の話をしっかり聞いて理解して、それに対してあいづちでも意見でもいいから何か反応することが平和のために私ができることだと思います。人の話を聞くことでその人の気持ちの状態を知ることができるし、その人がなにかストレスや心の闇をかかえていたらそれを少しでも軽減させることができると思う。

私にとっての平和は、世の中の人々がみな自分が納得できる生活をおくることだと思います。理由は、今の世の中や社会は不満に満ちている。現にテレビでも幸せな報道はあまりされず、ニュースも悲しい出来事だらけです。平和のために私ができることは、まずは身近な人のなやみをきいて自分なりに解決できる方へ導いていくことだと思います。

「人権は守ることが大事」

ぼくが平和について考えたきっかけは、学校の人権についての授業だった。その時にいろいろな種類の人権を知った。その中でも個人的に生存権と平等権が日常的に使われていると思った。生存権と平等権は、直接人の命につながっていると思ったからだ。ほかにも考えるきっかけがある。それは、ニュース。ニュースを見てぼくは、国連が荒れてしまっているように思った。核を使って、実験をしたり武器を大量に買ったりしていて、見ていていやな気分になった。少数派になった時も感じた。クラス

で多数けつを取った時、少数側になるとさびしい気持ちになった。さらにとても手を上げにくく、多数派に行ってしまうようになった。しかも一人だったりするとなおさら、多数派に行きたいという気持ちになった。これは、ぼくが本当に体験したことなのだが、どれもなんだかいじめられている気分になってしまった。個人で守る平和もある。例えば、きそくを守る、欲を出しすぎない、いじめをしないなどぼく達にできることは、いっぱいある。だからぼくは、自分達で作れる平和を作っていこうと思った。これらの考えをふくめて、ぼくは、人権を大切に思い、人種の差にもとらわれないようにしていこうと思った。

「平和創りのために」

平和とは、どんなものか。私は、平和について考えてみた。平和とは、どのようなことを言うのか。そもそも今、この世の中は平和といいきれののだろうか。平和とは、ただ戦争が無いことだけのことをいうのだろうか。私は、そうは思わない。私は、この世の中で、犯罪、いじめ、差別のような人々を苦しめるようなことを許していないのだ。それは、多様性というものでもあるのだが、どっちにしろ、一人でも多くの人が、笑顔でいてほしいからだ。では、犯罪やいじめなどをこの世の中から消すためには、どうすればいいのか考えてみた。そこで私は、「心遣い」を心がければいいのでは、と思った。「一人はみんなのために、みんなは一人のために」という言葉もある。だから、一人が心遣いをするのではなく、一人一人が心遣いをすれば良いと思う。私は、「心遣い」をするために、努力をするのではなく、心がけてすることが必要だと思う。私は、このようなことを考えている。また、今この世の中は平和といいきれののだろうか、ということに関しては答えは無いと思う。

戦争が無ければ、平和だといったり、いやいや、戦争が無くても、犯罪やいじめなどがあれば平和だとはいいいきれないだろう、とも考えられる。これも、多様性というものだ。では、多様性が無ければ、誰もが認める平和がおとずれるのか。そうではないと思う。みんなの心が同様であれば、逆にあらそう。自分の思い通りにいかないからだ。では、平和はおとずれないのか。そんなことはない。先ほどと同じように「心遣い」だ。一人がみんなのために、みんなが一人のために、心がけをすればよいのだ。これは、忘れてはいけぬ。私は、「平和」を考えてみると、こんなことを思った。「私がみんなのために」平和を創りたい。

この世界は平和といわれたら、そうではないと僕は思う。なぜなら日本は第二次世界大戦以来、戦争していない。しかし世界的にみると残念ながら今現在戦争をしている所はまだたくさんある。僕は戦争をして失った人たちのことを想像してみるととても辛くなってくる。どうしてこのようなことを思ったのか。きっかけは社会で第二次世界大戦の勉強をしたときです。どんなに悲惨だったか、自分の思った以上にひどくてとてもおどろきました。僕はこのような事は二度とおこしてはいけぬなとすごく思います。そして二つ目は差別です。今でも戦争と同じように黒人差別などが起きています。僕はこの事実を知り、僕より後に生まれた人たちへ差別はどれだけおそろしいのか教え、そして、差別をどんどん無くしていきたいと思います。そして平和を手に入れるには待つのではなく、自分で行動をするのが大切だと僕は思います。

「光と影 戦争を無くしたい」

平和とはどういうことだろうか。ただ戦争が無い世界のことを平和と呼ぶのだろうか。自分はそうではないと思う。自

分が平和について考え始めたのは社会で第二次世界大戦の学習が始まったからだ。自分は最初、平和は戦争がないことを言うんだと思っていた。だがその考えはいつか変わっていた。戦争が無くなっただけでは平和とは言えない。人々が豊かになり、人々の心の内の闇が無くなってこそ平和だと言えるようになると思っていた。戦争が無くなっただけでは平和とは言えないと思う。分かりやすく言うと、犯罪が何回も起きる所は平和とは言えないというわけだ。では、今の日本は平和とは言えるだろうか。一ヶ月に何回も新聞に犯罪の記事がのる。いじめや差別、重労働により、自殺する人が後を絶たない。どうしたら、この世界が平和になるか、それは一人一人の心がけが大切だと思う。たった一人だけと思うかもしれないが、この世界には何億人もの人がいる。一人が心がければ、いずれ、みんなも心がけるようになる。みんなの心がけによってこの世界は変えられるかもしれない。平和な世が続くような世界になるかもしれない。平和は自分達の手でつかみ取らなければいけないと思う。たとえ同じ空を見ていようと一人一人見え方はちがう。あざやかに見えたり、セピアに見えたりするかもしれない。それはそうと自分は否定しない。なぜなら人間には多様性があるから。多様性が戦争のときには否定されていたという。多様性が平和とつながっていると自分はおもっている。

私が思う平和は、戦争が無く、人権をちゃんと守るという事だ。平和について考えるきっかけとなったのは、社会や総合の時間だった。社会では十五年にもわたる戦争で、日本に働き手が少なくなってくると、朝鮮人や中国人を強制的に連れてきて、工場や鉱山などでひどい条件で働かせたり、女子生徒も工場で働かせたりなど、こんなにたくさんのひどい事

をしていたり、逆に、焼夷弾で火の海にされたりなど、こんなひどい戦争という物をやっている、当然平和とは言えないなと思った。総合では、人権の事について勉強した。人権は、誰もが守れていると思っていた。でも、よく考えてみると、まだ差別されている人々もたくさんいるし、ブラック企業も起こっている。そして、私たちも、人を傷つけてしまう時がある。人権問題は、意外と身の回りでたくさん起きていた。このようなたくさんの人権問題がそのままになってしまえば、殺人や自殺が起きたりしてやがて国と国との戦いになる。すると、昔のような戦争がまた起きてしまう。このように戦争が無かったとしても、戦争につながる人権問題などがそのままだと、平和だとは言えない。平和な国をつくりあげるためには、私たちにもできる事がたくさんある。たとえば、困っていたり悲しんでいる人がいたら、やさしくそばにいてあげたり、今自分が言っている事、やっている事が、相手を傷つけていないかどうかなど、周りに気を配って生活したい。私は、平和は自分たちでつくらないといけないと思った。

「平和にするためには・・・」

世界が平和になった事はまだ一度もない。僕はそう思う。多様性や（基本的）人権、戦争の勉強をして、「平和」を意識し始めた。平和にするためには、小さな事から解決しなければいけない。例えば、いじめ。いじめも、やられる側の「自由」という人権が奪われている。そして嫌な思いをしている人がいるという事は平和でないという意味だ。常に、「平和」というものを考えていれば、こういった事が減ると思う。そして、平和の反対と聞いて多くの人が答えるのが戦争だ。戦争に勝つと、賠償金や領地がもらえたりして国としては良いかもしれないが、国民にとっては何の良い事も無

い。負けるともなれば尚更だ。勝つ、負けるは別にして、多くの人が苦しむのがこの戦争。多くの基本的人権が奪われ、平和というものが何かさえわからなくなってしまう怖いもの。個人が何かすれば無くなるというものではないが、一人一人が平和を考える事が大切だと思う。身の回りにも平和とは言えない事がたくさん起きています。差別、いじめ、殺人など。いじめなどは、やる側が楽しんでやっている事だと思う。そういう人達は相手の気持ちを考える事が出来ていない。相手の気持ちを考えるという心を持たなければいけないと思う。差別は、自分達と違うからする事。でも、違って良いと思う。多様性が無ければ、今の社会を作りあげる事が出来ないからだ。こういう事を減らしていく努力が必要だ。世界が平和になった事はまだ一度も無いと思う。でも、これからもこのままで良いのだろうか。平和を作りあげるためには、努力をし、平和を常に考えて生きていく事が必要だと思う。これが、本当に平和につながるかは分からないが、こういった気持ちを持つ事が大事だと僕は思う。

「平和は大切」

ぼくは平和が大好きです。なぜなら、平和はいやだなあと思う気持ちがないし、平和は楽しいことがいっぱいあるからです。ぼくは、ときどき友達とけんかになってしまう時があります。だけどけんかにならない時もあります。ぼくはけんかになってしまう時とけんかにならない時の違いを考えてみました。すると、なにかに言われても言いかえしては絶対いけないということです。友達になにか言われて言いかえしてしまうと、友達も言いかえしてしまって、どんどんヒートアップしてしまうと、けんかになってしまうのです。ぼくはそれを大人もやればいいんじゃないかなあと思いました。な

ぜなら、世界を見ると北朝鮮とアメリカがずっとけんかをしています。それは二人とも言うて言いかえしてをずーっとくり返しているからだとは思います。言い合いをしているとミサイルとかをうってしまってさらには戦争になってしまいます。戦争になってしまうと大変なことになってしまうということを授業で習いました。人がたくさん死んでしまったり家や歴史的建造物などがこわれてしまったり人の気持ちとかがおかしくなってしまう。人は最初絶対に戦争に行きたくないと思います。だけどだんだん戦争をやっているうちに気持ちがおかしくなっていて、前は絶対にやらなかったことなどをしておもしろくなってきてしまいます。戦争は人の心もおかしくしてしまうのです。でも、言われればなしでがまんするのもよくはありません。中国のフィリピン付近の軍事施設もなにも言わなければどんどん増えていってしまいそうです。なのでお互いを思いやるのが大事だと思います。国と国との争いといっても結局人がやっていることです。本当に心から相手の国の人々のことを思いやれば、戦争や争いは起こらず、平和な世の中ができていくと思います。

「平和・戦争・いじめについて考えた事」

私は、平和・戦争・いじめについて考えてみました。なぜ考えてみたかという、戦争やいじめは現実で起こっているから、平和な世の中にしたいと思ったからです。七十年前くらいにこの世の中で戦争が起きていて、日本でも戦争で多くの人が死んだと想像すると、とても怖いなと思いました。さらに言うと、何もしていないのに殺されたりつらい思いをするのは、かわいそうだし、おかしいなと思いました。いじめについても同じような事が言えます。私の経験上からいくと、いじめている人はストレス発散がで

きて楽しみながらやっていると思います。でも、いじめられている方はとてもつらい思いをしているし、毎日が全然楽しくないし、自殺をしたい、殺されたいと思ってしまうのでとてもいやな日々を送っていました。戦争も同じような思いをするので絶対に戦争を経験したくないなと思いました。授業で勉強して本や資料から分かった事は、戦争は十五年の間続いたという事と、差別されてきた人々はたくさんいるという事などです。さらに、もっと心に残ったことは何かというと、空襲や原子爆弾で世の中がボロボロになって多くの人が死んでしまったという事です。このような事があるからなかなか平和にならないんだなと思いました。最後に、やはりまだ世の中にはいじめや戦争がなくなっていないので平和な世の中を作るのはとても難しい事だし、世界中の人々が協力しないと良い世の中にならないと思っているので、これから、人をいじめる・悪い気持ちで人をからかうのはやめたいと思いました。

「平和って何だろう？」

最初に、この作文を書くと言われた時「平和って何だ？」と思いました。私たちが生きているこの世界を平和というのかそうではないのか。どちらの意見もあると思います。だから私は人それぞれだと思いました。社会の授業で戦争について習いました。とてもざんこくで、たくさんの人が死に、平和とはかけはなれた時代でした。でも、そんな戦争は終わりました。しかし、戦争のない今の日本は平和なのでしょうか。「私の周りでは、事件何も起きていない。毎日楽しいから、この世の中は平和」と思う人もいれば、「戦争をしていないといっても、事件や差別が起こっている世の中は平和ではない」と思う人もいます。どちらも正しいと思います。いろんな性格の人がいて、それぞれ年れい、住む場所、

性別などちがいます。だから、ちがって当然です。でもいつ自分が「平和」だと思っていた世界が平和じゃなくなるか分らないと思います。反対に、平和になることもあると思います。そういう意味でも、平和は人それぞれちがうと思います。人は、みんなちがうから意見もバラバラ。何を基準にして平和か平和じゃないかを決めるかは人それぞれです。そして、正解ありません。でもどんな考え方であろうと、世界中の人みんなが「この世界は平和だ！」と思えたら、その世界は、平和なんだと思います。

「ピース」

作文を書く時に考えた。平和ってなんだろうって。人間には「心」（自分の意志）というものがある。もちろん心には怒りや悲しみもある。だから、いつも楽しくて幸せだと思う人なんていないだろう。人間はマイナスな考えや気持ちを持っているかぎり、平和を実感することはできないだろう。四年生の時反抗期が来た。なんでもいらして不満に思うと物にやつあたりをした。それに対して両親も兄弟も困っていただろう。夕食は家族そろって食べた。その時感じたのは「幸せ」という気持ちだ。母のごはんにも幸せを感じたが、それよりも夕食を食べる家族の顔に幸せを感じた。みんなもくもくと食べていて笑顔だった。学校の授業でわかった。戦争という人間の争いを。土地をあらし、動物を暮らしにくくした。そして人間は最もおそろしい「核」を生み出した。これで平和というもののがうばわれた。最も恐ろしいと思ったが、核を生み出した私たち人間の方が恐ろしいだろう。人間は自分たち以外の生物をおそう。魚も動物も……。私は学習をするとき魚がどれだけとれているかを調べた。数万t。それだけたくさん魚が死んでいることになる。でも、しょうがないのかもしれない。食べない

と人間がうえてしまうのだから。私は平和とはほんのささいな出来事のことであると思う。本当の平和を実感したことはない。人間はざんこくな生物だ。人間の生み出した争いや武器であの家族の笑顔はなくなるのか。私はもう一度考える。平和ってなんだろうと。

「平和について」

ぼくは世界が平和になった事は無いと思います。平和について考えた理由は授業です。授業で平和についてどう思っているか書いたときに思いました。そのように考えた理由は三つあります。一つ目はニュース番組で見た事です。家にいるときにニュースを見ると殺人や自殺を見ることが多いからです。二つ目は授業です。社会の勉強をしていると日本は他の国と戦争する事が多かったからです。さらにその戦争は長い間続いていた。三つ目の理由はいじめや差別などについてです。最近でもいじめや差別などがあるという話を聞くことがあります。平和にするには、そのようなことを少しでもへらさないといけななと思いました。だからぼくは、困っている人を見たら声をかけてあげようと思いました。このように、ぼくが世界がまだ完全に平和ではないと思った理由はいくつかあります。だからぼくは授業をやって急に世界が平和になることは無いと思いました。そのためにはいじめをなくすか一人でいる子を減らすなどということからやっていくことがいいんじゃないかと思いました。

「争いは話し合いで解決できる」

ぼくが平和について考えたきっかけは、総合の授業で人権についていろいろな事をみんなで考えたからだ。人権を守るといことは、平和にとっても重要だとぼくは思います。まず、基本的人権。これは、ぼくたちは当たり前だと思っていますが、世界にもまだ基本的人

権を当たり前だと思ってないような人がいるので、まず最低でもこれは、当たり前だと思えるようにならなければいけないと思いました。基本的人権は、特に戦争と差別に大きく関わっていると思います。戦争であれば、生きることや食べること、物を自由に買えることなど生活するのが大変になってしまいます。差別されていたら、住む所や結婚も限られたり、ひどい場合は、どれいにされたりして、生きていくのがつらくなってしまいます。だから、この二つは特になくしていかないといけないと思います。そしてぼくは、争いは、話し合いで解決できると思いました。もし、対立があったとしたら、武力や暴力などで解決するのではなく、ちゃんと話し合って解決しないといけないと思いました。武力だと戦争が始まり、関係のない住民も死んでしまいます。暴力だと、より対立がはげしくなり、ケガをしてしまいます。このように、人権が守られる、対立したら話し合いで解決するなどのことが平和につながると思いました。

「平和とは」

ぼくは、平和にはメリットもあればデメリットもあると思います。みなさんは今、平和だと思いますか。今の人はけっこう平和だと言っていますが…。意外と平和ではないことが分かりました。今は平和に近いですが、戦争も起こってはいませんが、じゃあどういふところが平和じゃないのですか。殺人、自殺、差別、いじめは、まだいろいろなところでおこっているのです。ぼくは社会の勉強をして、最初平和だと思っていた気持ちが大きくかわりました。ぼくは、戦争は、経験したことはありません。本や絵を読んだだけで苦しさやつらさが伝わってくるぐらい戦争はこわいののに、いま北朝鮮がまんがいちミサイルをうってしまったり、またあの苦しい戦争が始まるので

す。だからまだぼくは、世界が平和、日本が平和ではないと思います。平和というものは政府がつくるんじゃなく、みんなで作ってあげていくものだと思います。どうつくれば平和になるかもわかりません。どうすればいいかもわかりません。それはみんなで見つけるのです。

ぼくは、なぜこのよから戦争が消えないかについて考えます。今だに戦争のかげがあり、それがはじまったら確実に人類はほろびると書いてありました。そうでなくても人は何万人かは殺されます。では、なぜそんなに戦争が起きているのでしょうか。本に書いてある話によると、戦争は、勝ったらたくさんのぼいしょう金もらえて、兵器もどんどん進化していきます。そうすると、自国も有利になります。だから戦争はおこるんだと書いてありました。どうやったら戦争を止めれるでしょうか。ぼくは、かくなどのこうげき戦用のミサイルなどをすてて、自国を守るだけの物を作ればいいと思います。それをすべての国が実行して、自国を守るだけの軍隊にすればいいと思います。確かに自分の国がほかの国に攻めをうけたら、はんげきようもほしいです。しかし、自分の国を守るような物なのでそのようなことはしないはずで。これからは、かくをどんどんなくしていつてほしいです。

「けっきょく平和とは？」

ぼくは、平和とは自分のやりたい事ができる時だと思う。なぜそう思うかというと、戦争がなくてすごく安心してらせるからである。もし戦争があったら安心してくれないたくさんの人々がぎせいになってしまう。すごく昔にあった沖縄戦では、たくさんの人々に被害があった。戦争がなくても、危ない場所がたくさんある。ぼくは、しょうじき平和ではないのかと思ってしまった。平和という

のは、人として人権があり、はんざいがなく、差別もないことだ。けれど、今は少し差別もあり、はんざいがたくさんある。このことからぼくは、今平和ではないと思う。では平和とは何なのかとぼくは思ってしまった。いつになったら、何も起こらなく安心してくらせる時がくるのかすごく不思議に思ってしまった。このことから、戦争をまたはんざいをなくして平和になる時がきてほしいです。平和をみんなで作っていきたいと思いました。

「なくてはならない人権」

皆さんは人権問題についてくわしく知っていますか。先生の話によると、世界では沢山の差別やいじめが行われ人権しん害にあっている人がいるそうです。ぼくはこの事実を知ってとてもおどろきました。世界を平和に導くには全ての人権をしん害せず守っていかなくてはなりません。なぜ、人権しん害がおきのでしょうか。先生の授業によると、まず差別がおきからです。差別をされると差別された人の人権しん害になります。だからまず差別をなくしていかないといけないと心から思いました。差別が完全になくなるのはとても難しいと思います。ではどうすれば差別がなくなるのでしょうか。ぼくは、まず一人一人が心がけることが大切だと思います。家では個人的に気を付けています。人権はこの世の中には絶対になくしてはならないとぼくは思います。授業でグループになり、派生図を書くとおことがわかりました。それは全てが自殺や殺人になり最終的に死に至るということです。このことに気付くとても怖いと思った。ぼくたちのクラスでは先生がくわしく授業をしてくれました。先生のおかげで人権についてくわしく学べ、差別はいけないということがよく分かりました。人権しん害をおこさないように心がけています。また人権しん

害をされているところを見たら知らないふりをせず声をかけようと思った。このように、人権を守るために、差別をなくし人権について深く考えて、世界が平和になることはできないでしょうか。

平和。それは、だれもが願う大きな大きな夢なのです。毎日のように犯罪のニュースが流れる今でこそ、平和について見直した方が良いと思います。ニュースで流れていなくても差別やいじめはあります。このままでは本当の平和はやって来ないと思いました。また、核兵器などの国際的な問題もあります。しかし、どんな問題でもその過ちに一人一人が気付いて努力すれば少しずついじめや差別はなくせると思いました。なぜ、平和と言える世界にならないのでしょうか。今までの授業から考えると、自分が感じている不満を意見として人に言うからだと思います。まず、自分の考えを人に話します。するとその意見に賛成の人と反対の人が出て多数派と少数派に分かれます。そこから偏見が生まれ、差別やいじめの原因となるのです。また、多数派と少数派がしょう突することで、戦争になるのだと思います。それを防ぐために、私は自分の意見はもちろん、少数派の意見も尊重するように心がけています。この小さな小さな心が世界中の人にあると、きっと大きな力になって平和へ導いてくれると思います。そして、平和とは何なのか、平和になるためにはどうすれば良いのかをきちんと知り、伝えていくことが大切だと思いました。そして日本から平和に向けて積極的に活動していくことが大切だと思います。これからは自分から平和について考え行動していきたいです。

「平和って何なのか？」

私は、平和はとても大切なものだと思う。なぜかというと戦争の悲惨さを社会

科の授業で知ったからだ。この悲惨さを知る前は、こんなに戦争がひどいものだとは思っていなかった。また、戦争が起こるきっかけは結構身近にあることに総合のワークショップで気付いた。平和って何なのだろうか。総合の時間。一番最初は、多様性について学んだ。もし多様性がなかったら…というワークショップもやった。すると、多様性は戦争にも関わりがあることに気づいた。次に人権がもしなかったら…というワークショップでは、より戦争に関わりがあった。そんな事から戦争になるきっかけが何かが分かった。社会の時間。戦争の悲惨さを学んだ。私はこの社会で戦争はどれだけひどい事かを知った。私は、まだ戦争について勉強する前は、こんな悲惨な事だとは思っていなかった。だから、戦争のひどさを知って、より強く戦争はしてはいけないことだと感じた。特に実際に体験談を聞いた時は、戦争のつらさ、こわさが体の中に入りこんだ。戦争は、いろいろなきっかけで起こると思う。そのきっかけはすぐ身近にあると思う。平和というのは、ただ戦争が起こらないから平和だ、ということでもない。戦争になるきっかけを作っていたり、一歩まちがえれば戦争になってしまうという状態も、平和とは言えないではないだろうか。平和というのはどういう状態なのかよく分からないのが今の私の現実だ。けれど、戦争をしなければ、ほぼ平和と言えると思う。この作文を書いて、改めて平和の大切さに気づいた。私達にとっての平和は何なのか？日本にとっての平和は何なのか？世界にとっての平和は何なのか？これからも考えていきたいと思う。

「人権と世界のつながり」

みなさん、人権を知っていますか。私が人権を知ったのは、総合の授業でした。人権の話をしている時、日本はとても平和だなと思いました。私は、ごはん

も食べられて、いつものように学校に行っています。けれど、このようにできない人もいました。それは、戦争をやっている国や差別されてきた人々です。私は、戦争をやっている人は知っていましたが、差別されてきた人々がよく分かりませんでした。けれど、授業を進めていくとだんだん分かってきました。そして私は、そんなのをなくせばいいのになと思います。人権について書かれている紙を配られました。その人権はとてもあたりまえのように感じましたが、世界では戦争がおこったりしているところもあり守られていない場所もあるみたいで、私はびっくりしました。戦争については社会科の勉強で習いましたが、とてもこわくてたまりませんでした。食事もせいぜいさされているのでいやだなと思いました。と思うと、とても日本は平和だなとあらためて思いました。なぜ、戦争がおこるかを考えてみました。すると小さなことから、少しずつ発生し、最後にはかならず戦争へつながりました。その小さなことを考えると、まずは個人的にけんかが始まり、そこから市民のけんか、やがて国と国とのけんかになどと小さなことから大きなことへ続くのが、考えてみて、よく分かりました。そして、差別されてきた人々も考えてみました。例えば、友達をはばにしていじめるなどがあります。そこから私はつながっているのではないかと思いました。このように、世界を平和にするためにいじめや、けんかなど小さなことをなくしていき、戦争のない、平和にしていきたいと心から思いました。

「平和を自分たちなりにまもる！」

平和について考えたきっかけは、人権についての授業です。授業で少数派、多数派をやって自分は、少数派のほうになりました。みんなとちがうことをやっていたのですごくふあんでした。最後に、

ゆびをさしながらみんなが笑っていて、すごくいやな気持ちになりました。されている人がいるかもと考えたら、かわいそうだな、されている人をみたらすぐにたすけたいと思いました。私は、差別をしてはいけないと思う。女だからこういう男だからというのはだめだと思った。差別を教えないと、自殺する人がふえたり、いじめにあつていやな思いをする人が増えると思いました。ふつうはこうでしょと言われるとぜったいこうしなくちゃと思ってわるいことをしてしまうかもしれないから、こわいなあと思った。私は、学校で人権をまなんで、けっこう問題があるなと思った。自分がもしされたらすごくこわいなと、思いました。

日本では、基本的人権のきまりを作られてから、殺人がへっています。現在の新聞やニュースなどでは殺人事件の報道が多いですが、昔よりだんだん殺人の数がへっています。どんな基本的人権があるのでしょうか。・生きる権利・自由な権利・みんな平等な権利・政治に参加する権利などの権利があるとのことでした。また、外国では、基本的人権のきまりがないそうで、殺人やテロが多いから町が戦争じょうたいです。だから基本的人権が日本に作られたのです。その他に、差別をなくすために基本的な人権ができたと思います。私たちは、ふつうと思っていることが、外国や、昔の日本はちがいました。すべての人が安全にくらすことができるように基本的人権が作られたと思います。

「これからの平和」

平和とは、戦争がない事。だから日本は、別に平和だし世界を見てもまあまあ平和、と前の僕は思っていた。学校の総合的な学習で、多様性や人権について習ってきた。多様性を認めなかったり、人権問題を放っておくと、どれも戦

争につながった。歴史もちょうど第二次世界大戦のあたりをやっている。いろんな所で、戦争について考えてきた。こんな戦争が、七十年程前日本でも行われていたのだと思うと恐ろしい。こんなことは二度とせず、平和に生きたいと思う。でも、平和というのは、戦争が無いという事だけなのだろうか。歴史の授業で、消極的平和と積極的平和について教わった。この日本が、世界が、消極的平和で皆が幸せだろうか。そういうふうに見ると、日本はまだ本当に平和ではないのかもしれない。そして、日本を本当の平和に近づける事は、僕達子供でもできるかもしれない。身近な事から、平和な未来を作れるかもしれない。例えば、学校内のいじめや差別。これらを少しずつ無くしていくのも、平和につながる。それは簡単な事ではない。けれども、平和な世の中を作るためには誰かがそういう事をしなければならぬ。それは、僕にだってできる。皆で協力して、一步一步歩んでいく。平和は、自分達で作るべきものなんだと、僕は思った。こんな事を考えたのは、授業があったからで、自分から平和についてなんては考えなかったと思う。なぜなら、今まで実際に戦争を体験したりしてはいないし、この日本が平和ではないと感じた事がなかったからだ。でも、この日本や世界は完全に平和とは言いきれない。考えが変わったのだ。日本も世界も、まだまだ完全に平和ではない。平和とは、戦争が無いという事だけじゃ駄目で、格差や人権問題などが完全に無いという事なのかもしれない。そんな世界を作るのは難しいけど、それでも平和というのは、自分達で作らなければならぬものなんだと思う。

「平和と言えるのか」

僕は、平和とは毎日が安心して過ごせることだと思います。なぜならば、安心して過ごせることとは、戦争がなく、犯

罪がおきず、人権があることだと思ったからです。僕でも日々、安心して過ごせると感じる時があります。それは、いつも通りに生活できている時や、学校や家にいる時などです。そんな安心して過ごせる時間が毎日のようにある僕はとても幸せだと思います。しかし、僕は、今の日本は平和ではないと思いました。今の日本は、犯罪が多く、貧富の差などがあるからです。ですが、今と昔では今のほうが治安も良く、犯罪が少ないので、今のほうが平和と言え、言えるかもしれません。それに、他の国では外を歩くことすら危険で、一人一人の人権が無い所もあるからです。他の国から見れば日本は平和かもしれませんが、僕達日本人から見れば平和じゃないと言う人がたくさんいるということが僕の意見です。一人一人違う考えをもっているから、この世に本当に平和がおとずれるのは難しいと思います。改めてみても、毎日が安心して過ごせても、不便な点はいくつかあるし、学校や家にいても不安な人がたくさんいるにきまっています。最後に、平和がおとずれるために、自分が理想とする平和を自分で作りあげていけば、世界はだんだん安定していき、やがて平和がおとずれると僕は思います。

「幸せと平和のつながり」

みなさんは、「平和」という言葉を聞いてどのような事を思いうかべますか。私は、戦争の事を思いうかべました。だけど、「平和」という言葉は、身の回りの幸せとも読みとる事ができると知りました。例えば、毎日、あたり前のようにとっている食事、基本的人権に守られているからあたり前なだけであり、基本的人権が無ければ、ただ食事をとるだけの事でさえ、むずかしくなってしまうかもしれません。私にとっての幸せであり、あたり前な事は、学校へ行って友達と遊ぶという事です。最初は仲良くな

かった人と仲良くなれたらうれしいので、友達とコミュニケーションをとったりする事はとても幸せなことだと思います。このように、私達の「あたり前」には、様々な幸せがたくさんあります。このような幸せが、平和につながっていくのだと私は思います。

＊＊＊

「あたり前の幸せ」

みなさんは、どんな時が幸せだと感じますか。私は、友達や家族という時や、好きなことをしている時など、小さなことだけどとても幸せなことだと感じています。なぜ、私がそう思うかというと、それがあたり前のことではないと思うからです。世界には、家族や友達がないという人、差別されている人、体が生まれつき不自由な人などがたくさんいると思うからです。なかには、家や学校にいたくないという人もいます。私には、家族や友達もいて、健康に過ごすことができる環境があり、それがあたり前になっているけれど、本当に幸せなことだと思います。そうやって、平和に過ごすことができるのも、周りの人によって守られているからです。私たちは、大人になってもたくさんの人に支えられて生きていくことでしょう。それは、あたり前のことではないと、頭の中においておくことが大切だと思います。

＊＊＊

「人との関わり」

みなさんにとって、平和とは何ですか。私にとって平和とは、身の周りの幸せです。その中でも、友達や家族など人との関わりが私にとっての平和です。私が人との関わりを平和だと思う理由は二つあります。一つ目は、友達との時間です。私は一人でいると、なかなかポジティブになれず、ネガティブになってしまったり、人の目を気にして行動してしまいます。しかし、友達といっしょにいる時間は自分が自分じゃないみたいに、

気分が上がって人目を気にする気持ちが減った気がします。だから友達との時間は幸せだと私は思います。二つ目は、家族との時間です。家族はどんな時でも味方でいてくれます。学校でいやだったことや困ったことがあった時、特にお母さんはちゃんと話を聞いてくれます。友達だと笑って流されてしまうことも、しっかり聞いてくれます。だから、友達とは少しちがうけれど、友達と同じくらい大切な存在だから私は家族と過ごす時間はとても幸せだと思います。私はたくさんの人に支えられています。だからこそ身近にいる家族や友達との時間はとても幸せで平和です。これからは、支えられてばかりではなく、たくさんの人の支えになれるよう、人との関わりを大切にしていきたいと思いました。

＊＊＊

「目には見えない小さな幸せ」

みなさんは、幸せを多く感じた事は、ありますか。幸せとはだれもが一度は感じる物です。人は一日のどこかで一つ、身近な幸せを感じているとぼくは思うのです。それは、目には見えない小さな幸せなのです。人は、大きな幸せを手に入れると、少し欲が出てしまうことがあります。そして、もっとお金が欲しい、もっと幸せになりたいと思い、ギャンブルに走り全てを失った人も少なくはありません。ぼくも時々、もっと幸せになりたいと思う時があります。ですが、この毎日平和に暮らすことができている。いつも変わらない友達と遊ぶことができている。この身近に感じていることが全て、小さな幸せなんじゃないかとぼくは思うのです。そしてぼくが、最後に伝えたいことは、大きな幸せを求めるのも悪くないが、小さな幸せを身近に感じながら、毎日楽しく生きていくのも、悪くはないということです。今、ぼくが何不自由なくこの作文を書くことができているのも、身近な幸せの一つなのかもしれません。

せん。

＊＊＊

「平和にならない理由」

みなさんは、平和について考えたことはありますか。世界、身近な所でも差別されている人がまだ残っています。今、この瞬間でも、人が戦争で死んでいるかもしれません。まだ、完全に、平和でないという事が分かります。では、どういう所が平和じゃないのでしょうか。まず、身近な所では、いじめなどです。いじめでは、最悪、自殺してしまう人がいます。次に、貧しい人です。貧しい人中には、家がなかったり、食べ物を買えない人がいます。次は、差別されてきた人々です。結婚、就職が、しづらくなる人がいます。このように、身近な所を見ても、平和とは言えません。世界では、どうでしょうか。世界では、戦争がまだ続いています。有名なのだと「シリア内戦」などです。戦争は、いろいろな理由で起きます。シリア内戦では、政府と反体制派とイスラム過激派が戦っています。他にも、他国との領土問題、国内での独立運動、反政府運動などで、起きることが多いです。戦争をすると出てくるのは難民です。戦争のせいで、生活に困り、よその土地へ逃げてきた人々の事です。他国でちょっとした差別をうける事もあります。差別をうけることがあるのは、民族です。昔だと、ユダヤ人や、アイヌの人などです。最近だと、クルド人などです。世界では、もっと平和ではありません。人を殺す道具などを作ったり、戦争や差別は終わらないです。僕は、世界平和のため戦争など終わってほしいと思います。

＊＊＊

「友達・家族・学校」

みなさんは、友達や家族、学校について考えたことはありますか。ぼくは、友達や家族、学校について考えたことがあります。世界には、友達や家族がない

人や、学校に行きたくても行けないという人がたくさんいると思います。友達や家族がいないと、しゃべる人やいっしょに遊んだりする人がいなくなると思います。そうになると、一人になって、家などがなくなったりして、生きづらくなる人がたくさんでてくると思います。学校に行けない人は、友達ができなかったり、国語や算数、理科などの授業がうけることができなくなると思いました。そうになると、大人になってから働く所が見つけにくくなってしまったと思います。今、ぼくらは、家族や友達がいって、学校にも行けて、とても幸せだけど、まだ世界には、家族や友達がいなくて、学校にいけない人がたくさんいるので、そういう人が減っていったらいいなと思います。

みなさんは、どんな時にしあわせだなと思ったことがあるだろうか？ ぼくが、しあわせで平和だなと思った時は、すごくたくさんある。ぼくがしあわせだなと思った時は、本を読んでいる時だ。本を読んでいる時は、静かで、楽しく思えるので、しあわせで、平和だなと思う。また、家族や家があると思った時も、しあわせだなと思う。家族がいるということは、みんな元気で、生きられているということ、だからしあわせだなと思う。さらに家があるということは、人権があり、差別されていないということだ。なのでしあわせだなと、思う。このようなことで、ぼくはしあわせで平和だなと思う。これからも平和でいてほしいと願っている。

「私の中の平和とは」

ふり返ると、私は幸せ者だと思う。なぜなら今の私の生活は、とても生き生きとしているからだ。では、なぜ生き生きしているのか。その理由を考えてみた。その理由はきっと、私が目標を自分で決めて努力できる環境にあるからだと思う。

う。目標を自分で決めて達成して自分が進化できていると感じたときの嬉しさを味わいたいがために努力しているのかもしれないが、とにかく目標に向かって走っていつている間は楽しい。例えば、戦時中の人たちは、目標は「戦争に勝つこと」と国に決められ、そのため「お国のため」と言って戦場に行ったり、工場で働いたりしたと思う。私は戦時中の人たちはみんな戦場へ行ったり、工場で働いたりするのを喜んでいたとは思えない。きっと一人一人、自分なりの夢や目標があったのだと思う。だとしたら、戦時中は私の中で生き生きできない時だ。よく戦時中は平和でなく、今は平和だと言われる。ならば私の中の平和とは、「何か目標を自分で自由に決められて自分なりに努力できる環境」のことを言う、と思う。だから、せっかく「平和」なこの時代に生まれたのだから、どんどん目標を決めて精一杯努力していこうと思った。

「私のちいさな幸せ」

みなさんは、身の周りの小さな幸せに気づいていますか。今は、戦争などはおきていなくて、私達は平和で幸せな生活をしています。私が幸せと感じたことは、数えられないほどあります。一個目は、家族とごはんを食べることです。毎日、家族全員で食べるわけではないけれど、家族そろって食べると会話が弾み、料理がおいしく感じ、何より楽しいです。二個目は、友達とゲームなどで遊んでいる時です。みんなをさそって遊ぶ時はもちろん楽しいです。しかし私は、さそわれて遊ぶ時のほうがより楽しいと思います。それから、自分の家で遊んで、みんなが帰る時笑顔で帰っているのを見ると、とても嬉しいし、さそって良かったなあと思います。さらに、友達と遊んでいると、悩んでいることを忘れることができそうです。今まで書

いたことは、みなさんにとって、あたりまえかもしれないけれど、私にとっては一番幸せなことだと思います。

たいていの人は幸せを感じたことがあると思います。しかし、人によって幸せを感じる時はちがうと思います。私が幸せを感じる時は、いつもの生活です。目をさますと家族がいて、おいしい朝ごはんを食べて、みんなと学校へ行って勉強したり遊んだり、しゃべったりして、放課後にはみんなと遊んで、家に帰ると家族も帰ってきて一緒に夜ごはんを食べて、ふとんにはいる。私はそれが幸せだと感じます。毎日家族や友達にかこまれて、おいしいごはんを食べられるということは本当に幸せなことだと思います。私も今では、家族や友達がいって、おいしいごはんが食べられるということはあたり前だと思っていました。でも、よく考えると、おいしいごはんを食べられるのは、他の動物の命をいただいているからだと思います。あたり前ではなく、本当にありがたく、幸せなことだと思います。なので、これからもいつもの生活をありがたく、そして幸せを感じながら過ごしていきたいと思います。

「人権問題をなくすには？」

みなさんは、人権問題がおきていることを知っていますか。学校の授業で人権問題が起きていることを知り、とてもびっくりしました。ぼくは、人権問題をなくしたいと思いました。どうして人権問題がおきているのか班のみんなで派生図をかくと、差別されている人がたくさんいることが分かりました。どうすれば差別がなくなるか考えました。ぼくは、学校で人権問題がおきていて、差別されている人がいるということを教わるのだと思います。理由は、人権について教わらないと、差別されている人に気付かずに、差別されている人が増えていくか

らだと思いました。このようにぼくは、人権問題、差別をなくすために、学校で差別されている人がいることを知ることが必要だと思います。

「あたり前のことだと思わない」

みなさんは、自分の生活があたり前だと思っていませんか。実は、この世の中では、あたり前ではありません。この世の中で、ある理由で生活がこわれてしまったり、いつもの生活がおくれない人もいます。そんな人たちに、ひどいことをしたりする人も、少なくはありません。その結果、差別につながってしまうのではないかと思います。自分は決して悪くないのにひどいことをされてしまうのです。それで、私たちができることについて、考えました。私が考えたことは、まず、人の立場を考えることだと思います。これは、だれにでもできる「思いやり」の一つだと思います。人に対して優しくしたりすることです。もう一つは、自分たちの生活がどれだけ恵まれているか、あたり前の生活がおくれない人はどのように過ごすか知ることです。知らなければ、相手の立場を理解できないからです。それは、とても大切なことだと、私は思います。このように、自分たちができることに取り組んで、一人一人意識をすること。そして「私たちは恵まれているんだ」と思うことが一番大切だと私は思います。

「差別がない世の中」

昔から世の中ではいろんな「差別」が問題になっています。そこでぼくは世の中から差別は無くならないのかと思いました。差別はぼくたちのお父さんが生まれる前よりずっと前にありました。黒人差別や男女差別などいろいろな差別がありました。今は差別をなくすよびかけなどもあり、昔よりは差別が少なくなりました。そこでぼくは、もし差別がなく

なったら…。と考えました。差別をなくすように声をかけたりして、表面からは差別がなくなる。けどいじめはあり、けっきょく差別のようなものになってしまい、差別はなくならないと、ぼくは考えました。やっぱり世の中からは、いじめや差別がなくなれば良いとぼくは思います。ぼくたちのクラスのように全員仲良くできれば良いと思いました。

「差別がない世の中」

世の中には、様々な差別があつて問題になっています。どうして差別が起こるのでしょうか。なくせないのでしょうか。差別は昔からあるので、それが続いて今も差別が続いています。女と男の差別は昔からずっとあるので、今も違うと考える人がいます。黒人と白人の差別も、昔にすく差別をしてしまったから、差別が今もあります。では、差別はなくせないのでしょうか。人には考える権利があるので、心の中で差別をするのは仕方がないです。でも、表面にださなければ分かりません。一人差別を表面に出してしまうと、周りの人も同じように差別をして、止められなくなり、深刻になります。一回始まった差別は、強く根づいて、ずっと続くことがあり、これは深刻な問題です。なので、たとえ心の中で思っても、表面に出さなければ差別はなしになります。もし差別が始まって、その仲間にならず、表面に出さなければいいのです。

「世の中に差別がなくなったら」

ぼくは、もし、世の中に差別がなくなったらについて考えてみました。考えてみるといろんなことがわかりました。まずは、いじめです。差別がこの世の中になくなったら、まずいじめがなくなると考えました。理由は、差別がなくなること、その人だけにわる口を言うことも少なくなると考えたからです。さらに

いじめがなくなることによって一人ぼっちでいる人が少なくなります。そして一人ぼっちでいる人がいないクラスができると、みんな友達と話していろんな話題で盛りあがって、まわりの人も楽しくなって笑顔になります。さらにみんな楽しく笑顔になることで、ちょっとしたケンカがなくなります。ぼくは、このように差別が世の中になくなると、いじめや、ケンカが少なくなり、みんな、楽しく笑顔になると考えました。だからぼくは、クラスの中でも、だれかを差別せずに、クラスのみんなを楽しく、笑顔にしたいです。

「友達のおかげ」

ぼくには、友達がたくさんいます。ぼくは毎日幸せにくらしています。それは、友達のおかげでした。ぼくの友達には、良いところしかないとと言えるくらい良い人です。ぼくがこまっている時いつもたすけてくれるし、クラスのみんなも元気にする力をもっています。人に悪口を言われてもつねにポジティブでいます。ぼくがおちこんでてもわらわせてくれて元気になります。さらに、学校が終わり下校する時など公園とかに誘ってくれます。ぼくには、ほかにも女子の友達もいて、イジったりイジリあったりします。どこか遊びに行ったりするし、男子も女子もかんけいなくなかよくしてくれます。ぼくは、そうしてくれた友達のおかげで毎日がとても楽しくすごせています。ぼくは今、友達のおかげで自分いつもポジティブでいられるようになりました。ぼくは、そうしてくれた友達にかんしゃし、これからは、つねに友達となかよくし、みんな、幸せになれるようになるといいなと思いました。

「小さな幸せ」

多くの人は小さな幸せを何度も感じたことがあるだろう。ここではぼくが感じたことをかかせてもらおう。まず最初に、

自分がゴロゴロしながら菓子をつまんでいるところを想像してほしい。おそらく少し幸せな気持ちになると思う。そのような気持ちが積みあがっていくことで平和や幸せができていくのだとぼくは思う。世間がSMAP解散でおおさわぎできるのは平和で戦争などが起こっていないから、ささいな出来事に注意を向けコメンテーターがテレビなどで討論したり、ネットなどで炎上やらなんやらができるのだと思う。(SMAP解散は決してささいな出来事ではない) ぼくは平和とは意識して作るものであると思うが、しかしそれ以上に日常の小さな幸せや出来事の積み重ねで平和が作られていると思う。ぼくはテレビを見たり、人と会話したり、何か作業をすることで小さな幸せを感じている。そんな幸せをあたり前に感じ楽しむことができる未来をつくっていききたい。

「平和とは小さな幸せの積み重ね」

みなさんは、「平和」についてどのように考えていますか。ぼくは、「平和」というのは、戦争がない世界だと思っていましたが、先生の話聞いて、「平和」とは、小さな幸せからなんだなあと思いました。小さな幸せは、身近に自分がやっている事を思いうかべました。例えば、学校に行って友達と遊ぶ、おかしを食べられる、家族がいる、家があるという事だとぼくは思いました。ぼくが一番幸せを感じるのは、テニスをしている時です。テニスで仲間を作ったり、コーチとコミュニケーションを取る事で楽しくなるからです。こうやってテニスをしたり、コーチやテニス仲間とコミュニケーションをとる事ができるのも基本的人権が守られている「平和」だからだと思います。つまり、小さな幸せの積み重ねが、今の「平和」につながっているのだと思いました。

「差別のない世界」

みなさんは差別がなくなったらいいと思いませんか。ぼくは差別がない世の中について少し考えてみました。もし、差別がなくなったら、就職する人がとても多くなると思います。ほとんどの人が家をもったり食料不足がなくなったりすると思います。ほかにもいろいろな問題がすべてなくなると思います。いろいろな所に建物がふえて世界が豊かになったりすると思います。学校などもふえてくると思います。このように差別なんてなくなったら、いままでよりもずっとくらしやすくなると思います。どうして差別なんてあるんでしょう。ぼくは差別がなくなればいいと思います。

「当たり前の日常・幸せ」

みなさんは、どのようなことがあると幸せを感じますか。自分が絵をかくて、それが上手だったから表彰された、というようなことがあったときのみ幸せを感じるという人もいるかもしれません。自分のやったことに対して表彰されたときも確かに幸せな気分になります。しかし、表彰されることなんてあまりないはず。そんなときにしか幸せを感じないというのはないと思います。僕は、日常に幸せはあふれていると思います。一日の生活の中でも、僕はたくさんの幸せを感じます。朝起きて朝食を食べる、ということにも幸せを感じます。それは、朝食がおいしい、という幸せです。他にも、学校で友達と楽しく会話をする事ができた、昨日まで解けなかった問題が解けるようになった、ということでも幸せを感じます。このような体験は、誰でもしたことがあると思います。僕は、幸せというのは、家族や学校などによって当たり前の日常が守られているからこそ、できるのだと思います。戦争を体験した祖母の話では、当たり前の日常がなく、幸せもなかったそうです。僕は、

幸せを守るために、今の日常を守るために努力をしていきたいです。

「友達と過ごした日々」

小さな幸せとは何か。それは、日々の生活の中に隠されていると思う。例えば、友達。友達は、話し相手になってくれたり、自分が好きな事に共感してくれたりするからだ。勉強や部活を、おたがい頑張り、ミスをしてしまったり、落ち込んだりした時は、いつもはげましてくれる。だから私にとって友達とは大切でかけせない存在なのだ。普段は、当たり前のように接している友達だが、当たり前の事が、当たり前ではなくなったら…。もしも、友達がなくて、話す相手がいなかったら…。私はたえられないだろう。そう考えると、私は幸せだと思う。友達と話したり、遊んだり、笑い合ったりすることが、小さな幸せなのだ。私は思う。何かをしてもらったりしてあげたりすることで、友達との仲は深まっていく。それはとてもささいな事だが、友達がいたから、今まで頑張ってきたし、一緒にいたから、おたがいの好きな事について話し、笑い合えたのだと思う。友達は、毎日私を支えてくれたり、元気づけてくれたりするかけがえのない存在だ。

「あたりまえが幸せ」

あたりまえだと思っていることは、実は、とても幸せだと深く考えたことはありませんか。私は、友達がいること、家族がいることはあたりまえだと思っていました。けれど、それはみんながそうというわけではなかったのです。お母さん、友達がいるおかげで、さまざまな困難を乗り越えることができます。お母さんがいるから、ピアノ、バイオリンなどの習い事ができたり、おいしいご飯がたくさん食べれる。友達がいるから、いやなことを忘れることができたり、た

くさん遊ぶこともできる。あたりまえだと思っていることは、とつても幸せなんだなあと思つた。私は、たくさんの人々にかこまれて、本当に幸せだと思つた。

【20代】

- ・憎い争いのない世界
- ・実現するのは難しい。個々人が努力しなければ、かなえられないもの。人任せにしているはいけない。学ばなければ。
- ・相手の事を深く理解していること
- ・争いのない世界
- ・今日1日を幸せに過ごせること
- ・何も知らずに平和と名乗るのではなく、知ってより平和にしようと努力すること
- ・自由
- ・相手を思いやり、話し合ひで解決すること
- ・世界中の人が心の底から1日1日笑顔になれること
- ・不完全であることが当たり前だが、永久に戦争や犯罪をなるべく防ぎ、治安を守ろうとすること
- ・「うばい合えば足らぬ わけ合えばあまる」 あいだみつをさんの言葉に平和の思いがつかまっていると思います。最近「正義とは何だろう」と考えることがあります。国を守るため。家族を守るため。各々の正義の押しつけが戦争につながるのだと思います。

いかなる理由であれ戦争という手段はあつてはならない。だまされず、流されず…戦争のない世界を目指して。最近私達のような、戦争を知らない、政治を少しかじった程度の若者がネット上で「マスコミは信用できない」という経緯から安倍総理を支持し始めています。愛国心と右翼をはき違え、日本を守りたいと…行き過ぎで…間違つた方向に進んでしま

いような予感すら覚えおそろしいです。北がミサイルを打つなら迎撃、保身のための武力…それを相手（国）から仕掛けられる前に行使…流され始めているのではないか…戦争を知らない私達は命のとうとさを考えない…“ありふれた毎日”は幸せなはずなのに毎日のくり返し…仕事はツライとふきこまれ…簡単に命をないがしろにする…社会を動かす中心的世代が…こんな風に…押し付けられる…学校の勉強でなく、このとしだからこそあえて…社会人になった世代…だからこそ、改めて歴史を…変に偏っていない歴史を勉強させていただきました。ここで感じたことを広めていき、まちがった方向にいかないように…自分の正義、考えをふかめます。

【30代】

- ・食事や犯罪の心配をしないで済み、行動と思想の自由があり、夜も安心して眠ることができるのが平和
- ・家族や友人がみんな笑顔で元気。この輪が世界中に広がれば…
- ・普通になりたい。普通の暮らしをつくりたい。
- ・世界中の子どもが夢をもって明日に向かって歩める社会
- ・人のことを考え行動すること

【40代】

- ・少なくとも日本人である以上、日本でいつ戦争があり、どこの国と戦っているのか、大きな被害のあつた日や節目の日（6/23・8/6・8/9・8/15）を知つたうえで、同じことをくり返さないために戦争に反対しつづけること
- ・ネガティブな気持ちになつても自浄作用で元気になって元に戻れること
- ・人が人のためにしてあげられることを考えて行動すること
- ・地域で戦争・争いがおこっていない。
- ・皆が絶対的な価値観を持たないこと

- ・怒りの矛先は他人ではなく自分に向けること
- ・何よりも尊い事、子どもたちに一番伝えてあげたい事
- ・思ったことを言え、自由に動いてもよし、10人いて10人違う事をいってもゆるされる時
- ・人間が人間らしくくらすための権利。皆が不安を持たず自分の夢をかなえられる世の中。人と人が思いやりの気持ちをもってくらす世の中
- ・憲法の理想を追求すること

【50代】

- ・動物や子ども、障害をもつ人々が苦しまないこと
- ・戦争を止めること

私にとって平和イコール自由です。自由とは、自分勝手ではなく、何にもとらわれない精神的・肉体的自由です。精神的自由の場合、例えば私が本を読みたくとします、もし平和なら好きな本が自由に読めるでしょう。ところが、戦時中なら、政治、宗教の本は駄目でしょう。左翼思想に関係した本はアカだから、急進的思想は反体制でアナーキーだから駄目でしょう。戦争遂行に都合のよい面白くない体制の本しか読めなくなる。宗教の本もファシズムで一つの価値観しか認めないので同じような本を読む破目になる。また、文学もSFや推理小説（僕の読んでいる本）より、戦争をするための小説が優先される。ひどい時には、検閲があり、戦時下に相応しくない記述は線を引き墨を塗られる。戦時中、横溝正史、江戸川乱歩の本に黒く塗り潰された頁があつたと聞きます。いやらしかつたり怪奇趣味だったかもしれません。そうなら、僕の好きな筒井康隆、村上春樹は読めなくなってしまう。つぎは肉体的自由です。私は昔、鬱病でひきこもりでした。その時病院にも刑務所にも施設

にも入らず、家ですごしました。もしこれが戦時中だったら「非国民」、戦時の役に立たないとして、何らかの手がうたれたでしょう。最前線に駆り出され、爆弾と一緒に敵陣へと考えると、身ぶるいがします。さて徴兵制というのは、誰でもある年齢に達すれば、嫌でも軍隊に入るテストをうけるシステムです。私は体が弱いのですが健康なので入隊ということになるかも。軍隊の中で耐えられるはずがありません。戦争は殺し合いです。私も私の大事な人も相手も死んでほしくありません。徴兵こそ自由の侵害です。平和とは、戦争でなく自由であること、精神的自由は好きな本が読める、肉体的自由は軍隊や施設に入れられない。私にとって平和とは自由です。

【60代】

- ・心が自由なこと
- ・差別のない世の中が来れば良いと考える。戦争は人の欲から始まるので、欲とはなにかも考えてほしい。
- ・全ての人が衣食住に不安を持つことなく、女性が安心して子供を産み育てられる社会であること（男性にとってそれは間違いなく幸福な事であるはず）
- ・心やすらかに死んでゆくこと
- ・日常平凡にくらすこと
- ・私の母親は、昭和12年9月28日に出征した夫を、足かけ8年間待ち続けていました。夫はラバウルで終戦を迎え、翌年、復員してきました。その後、二人の間に私が生まれました。郵便物も届かなくなり、生死も分からぬなかで、家族のなかで孤立した立場で、待つしかない。こうした心を切り裂く状態に人を追いやるのが戦争です。若者を戦場に追いやる国を許してしまうのが戦争です。父たちの世代を最後の兵士にすることが平和です。
- ・笑顔や笑い声が響き渡る社会。この地球に生かされていることに感謝できる

心

- ・三度の食事がおいしく楽しく食べられ、風呂に入れ、安らかに眠れるように。

【70代】

- ・家族が幸せを感じ生活できる事
- ・戦前の教育に戻そうという企みを注視したい。
- ・日本中、世界中の人々の穏やかな日常
- ・国家と国家の関係ではなく、それぞれの国の勤労市民の関係、その結合と相互理解が必要であることを訴えていきたい。
- ・敗戦後の食糧難、昭和20年は毎日腹ペコで学んだり、あそんだり、大きな体にはなれませんでした。

- ・私にとって平和とは、この世の中から、地球上から戦争がなくなる事です。戦うための武器がなくなる事です。大きなものは核兵器、小さなものは、おまわりさんの警棒も。私達の血液の中には「助け合う」という情報が入っているそうです。戦うための牙も爪も持たない人間が、生き残ってくる事ができたのは、身近な人の事を思い、地域で助け合って生きる智慧を共有してきたからだと思います。自分さえよければよいという考えでは、生き残る事はできなかった、難しかったと思います。人々が努力をし、文明や文化が発達し、豊かな世界になりました。素晴らしい事だと思います。お金があれば殆どの事は実現できます。お金持ちと言われる人は、他人のものまで持っているのではないのでしょうか。戦争や紛争のある地域は貧しい所です。貧しさが戦いの大きな原因です。私達の地球は、地球上に住む人達を、全ての人々を養ってくれると信じます。平和のための研究をする機関、真の平和を考える組織が、日本からでき

たらいいなと思います。

ある晴れた午後、電車に乗り合わせた小さな出来事を思いだす。車内はさほど混雑していないものの、通路に立つ乗客もあり、空席は見あたらない。途中、駅で停車しドアが開くと、幼児を胸の抱きバグに抱えた若い母親が乗り込んでドア際に立った。ドアから少し離れた席で読書中の男子高生がその様子を発見すると、立ち上がって恥ずかしそうにその母親に声を掛け席を譲った。間を置いて入れ違いに乗車した杖を突く足の不自由そうな老男性が通路脇に立った。一旦、座席に着いたその母親は立ち上がり、「私は立つのは平気ですから」と言って、その男性に声を掛けて席を譲った。その光景に、夕陽が染めた車内にいっそう輝きが広がった。もし紛争国だったらこんな余裕もないだろうな、終戦間際に名古屋空襲で死んだ父の時代でもこんな光景はあったのかな、と恥ずかしくも涙が出そうになった。小さな「平和」を見る不思議な感動を憶えた。眩しい夕陽が一瞬「平和」の輝きに見えた。

「戦争絶滅受合法」の制定

戦争をなくするためにどうすればいいのか？ 実現できにくいのが、真実をついた法案を紹介する。デンマークの陸軍大将フリッツ＝ホルムが、1928年パリ不戦条約が成立したのを機に起草した「戦争絶滅受合法案」である。私の持っている資料ではフリッツ＝ホルムについて詳しいことはわからなかったが、長谷川如是閑が紹介した法案の原文があるので、全文を紹介する。

戦争行為の開始後又は宣戦布告の効力を生じたる後、十時間以内に次の処置をとるべきこと。即ち下の各項に該当する者を最下級の兵卒として召集し、出来るだけ早くこれを最前線に送り、敵の砲火の下に実戦に従

わしむべし。

- 一、国家の元首。但し君主たると大統領たるとを問わず、尤も男子たること。
- 二、国家の元首の男性の親族にして十六歳に達せる者。
- 三、総理大臣、及び各国務大臣、並びに次官。
- 四、国民によって選出されたる立法部の男性の代議士。但し戦争に反対の投票を為したる者は之を除く。
- 五、キリスト教又は他の寺院の僧正、管長、その他の高僧にして公然戦争に反対せざりし者。上記の有資格者は、戦争継続中、兵卒として召集されるべきものにして、本人の年齢健康状態を斟酌すべからず。但し健康状態に就ては召集後軍医官の検査を受けしむべし。

以上に加えて、上記の有資格者の妻、娘、姉妹等は、戦争継続中、看護婦又は使役婦として招集し、最も砲火に接近したる野戦病院に勤務せしむべし。

私はこれでは不足だと思っている。六として、戦争のために武器等々を供給する産業の責任者。七として、戦争を推進し鼓舞する報道をしたマスメディアの責任者。八として、戦争肯定の教育をした教育者。九として、憲法違反である自衛隊の創設や、イラク派兵を追認して、違憲立法審査権を放棄してきた裁判官。――を加えることを提案する。戦争をする権力者たちはこんな法律を作るわけはないが、この法律ができれば戦争をしなくなることは間違いない。

【80代】

- ・異なる意見をお互いに尊重しあうこと、実力、腕力、武力で相手をねじ伏せない。自分にとって悲しいこと、つらいことを相手にもそのような思いをさせない。飽食、ぜいたくをしない。

過大な我欲を満たさない。

- ・話し合いを始めること。敵がたとえ攻めて来ても「戦わない」こと。北朝鮮の脅威になる米・韓・日の攻撃的態度をすぐさまやめること

1936年生まれ年代にとっては、第2次世界大戦のさなかでも兵役はまだ遠い先のことであったし、父が病歴のため徴兵を免れている中で育った私は、戦争に対するそれほどの切迫感ではなかった。しかし、1945年、空襲で家を焼かれて味わった戦争の怖さが、その夏学童縁故疎開先で迎えた敗戦では占領兵による略奪・拘束の噂からくる新しい恐怖に変わった。1990年代、冷戦終結を機に、国連主導による平和構築の動きが始まった国際状況の中で、日本にも相応の貢献が求められるようになり、PKO活動の端緒が開かれることとなった。ただ、「戦力の不保持」と「交戦権の否認」を唱える憲法前文のお陰で国際協力には制限があることの理解も求めながらの協力となっていた。2012年に公表された自民党の「憲法改正草案」によると、日本国憲法第二章の表題が「戦争の放棄」から「安全保障」に変更され、その「Q&A」では『「自衛隊」を「国防軍」に変えたのは、何故ですか?』という想定問に『一定の規模以上の人口を有する国家で軍隊を保持していないのは日本だけであり…(中略)…軍隊を保有することは、現代の世界では常識です。』と答えている。戦後70年余、軍隊をもたないで平和を維持してきた実績こそ誇るべきではないか。戦後、平和国家を強く打ち出した日本国憲法のもとでも、既に“平和安全法制”の名のもとに“戦”に足を踏み出すことができる体制が進みつつある今日、施行70年を過ぎようが、日本国憲法は絶対に変えてはならないと考える。いろいろ欠陥があって現在生かされていない不戦条約(1928年)を国連憲章

(1945年)に沿って改定し、すべての戦争原因を交渉によって解決することを、すべての国が合意して遵守する世界の実現こそ、私にとって夢の平和である。

【年齢未記載】

私が平和について考えることは、とても個人的ですが、自分を見つめ「父」を思って生きることです。私の父は日中戦争で負傷しました。父の半生は下半身不随の身体で生きることでした。今は亡きそんな父のことを折に触れて考え、伝えることが私の平和を願う気持ちの表現です。今となっては詳細を知ることはいませんが、知る限りのものを忘れることなく思い出し、伝えていくことが、私の「平和」だと思います。私は趣味で「手作り絵本」を作っています。絵本は子どもの思考を形成する過程で、大いに役立つものだと言われています。幼少期は身近な所から、長じては「社会」に考えを膨らませていく読書につながるツールです。戦争で負傷した父のことを絵本にし、子どもたちに僅かでも「平和」を考えてほしいと、絵本『じいちゃんとぼく』を作りました。この絵本は下松市(山口県)手作り絵本コンクールでも評価を頂き、またこの絵本に共感いただいた幼稚園の園長先生のご好意で出版していただきました。(幼稚園では、園児の親たちに配られるそうです)このような形で、私的な手作り絵本が少しでも他の人の手に渡ることとなり、私の父への思いを広く知ってもらうこととなりました。私の長年続けてきた「手づくり絵本」が、ささやかでも「平和」を考えるきっかけとなればと思っています。絵本『じいちゃんとぼく』を同封します。ピースあいちで使っていただければ嬉しいです。

だれもが「見たことがある」と言うであろうハウスメーカーのTV・CMである。軽快な音楽が流れている。赤いラン

ドセルを背負った学校帰りの幼い少女が公園の遊具に座って考えごと。足下を可愛い子犬がペロペロと舐めている。少女のころの中ではこんな気持ちが揺れ動いていた。(この子犬を連れて帰ってお家で飼ってみたい。でも、お母さんが許してくれないだろうなあ？と忖度)賢い少女は連れて帰ろう、否、それはだめだと葛藤。そのうち意を決した少女は「さようなら」と子犬から逃げるように走って、お家に向かうのだが……。家への道すがら自問自答する。「お腹が減っていただろうな。お水が飲みたかったのではないだろうか」。お家についた頃には心に決めていた。学校で使った水筒に冷蔵庫の牛乳を注ぎ入れ、帰ってきた道を引き返すのである。堤防の上を走り、公園も行ったのだが子犬は見つからない。小さな胸に痛みを感じながら、とぼとぼと牛乳が残ったままの水筒を肩にかけて戻っていく。がっかり……。夜になって明々と灯る窓越しに、探していた子犬がちょこんと座る姿がシルエットで投影される。少女は気がつき、玄関から呼び入れるのである。(両親から家族の一員として飼うことを許してもらったのだった)それから十年あまり。嫁ぐ日を前にしたかつての少女。リビングでくつろぎながら老犬と目を合わせつつ、犬に、母親に、語りかける。「ずいぶんおばあちゃんになったわね」。台所とおぼしき方向からの声。「そりゃーそうだよ。ずいぶん年月が経ったのだから」「まーいいわよ、すぐに帰って(顔を見に)くるから」。過ぎし年月には泣いたり、笑ったりしたが、幸せへの道だった。これから先、嫁ぐ先の夢も、不安も幸せへの道しるべであることを暗示している。そんなCMが流れる今の日本は平和な国なのだ。

・これから将来の重鎮になる若い人々の意識改革、前進を切に願います。

- ・幸せであること
- ・戦争を経験された方の高齢化で忘れてはいけない「記憶」が絶たれようとしているので、私達が後世にも受けついでいかなければならないと思いました。私の祖父も戦争を経験した世代なので、今元氣なうちに話を聞きたいと思います。
- ・平和を保ち続けるには、私たち若者が社会に興味を持ち、意見を述べる必要があると思う。
- ・私は、先の大戦を学ぶ事はとても大切だと思う。しかし、それだけではなく、今の日本は果たしてどのような状態なのかを考え、それと先の大戦のこととを結びつけるのがさらに重要なことだと思う。今の日本、世界にはおかしいことはないか、悪い方向に進んでいることはないかをしっかり考え行動したい。
- ・毎日の生活が変わりなく、健康であればよいな。家族の障害が少しでも軽くなれば平和かな。家族で地域で支え合って生きる事が平和です。
- ・だれもくもらないこと
- ・なんでもない日常生活ができる事
- ・助け合い
- ・戦争や飢餓、貧困だけが平和への課題なのではなく、より深くにある文化を学び考え認めあうことが必要であると考え行動する必要であると考えてる。
- ・これからの日本はみんな1人1人を大切に平和の世の中にする
- ・作るもの
- ・戦争のない世界
- ・戦争で白黒をきめつけない世界
- ・今後も戦争がこの地球上から皆無にならないかもしれない。しかし“死の商人”に甘い汁をすわせるだけの企みは厳しく阻止していく必要があります。日本は地道に実践して来た国だと思います。
- ・争いが無い。

- ・自分の意志で自由な行動ができること
- ・何事も不安や心配がなく、笑顔でいられる毎日
- ・誰もが自分らしく他人も尊重すること
- ・何げない一日を過ごしていける。
- ・皆が安全に楽しく生きられること
- ・笑顔がたえないこと
- ・今の平和がこれからも続いていくこと
- ・みんなが幸せに暮らすこと
- ・一人一人が平等な社会に笑顔で暮らすこと
- ・すべての人々に少しは自由があって、すべての人々が幸せだといえる状態であること
- ・みんなが明日も楽しく生きていけること
- ・今日という一日が何事もなく過ぎること
- ・難しいかもしれませんが、利己的、排他的、利益を追求めすぎないようにして過ごすといえます。またそれを実践できるようにするために心の余裕を持つことが大切だと思います。そうすれば自分も周りから良い印象(?)も持たれたりするかもしれないので、少なくとも悪い状況にはならないと思っています。
- ・今日ピースあいちにはじめて来ました。このきかいに教科として好まなかった世界史、公民、日本史の勉強をしてみたいと思います。教科書を読むのが楽しみになりました。ほんとうにいい話をありがとうございました。これから笑顔になれる人が多くなるように、自分が笑顔で明るく頑張っていこうと思います!!!!

報告のまとめに代えて

「私も平和のために行動する一員になりたいです。」「平和は自分たちでつukらないといけないと思った。」「いじめや、けんかなど小さなことをなくしていき、戦争のない、平和にしていきたいと心から思いました。」

これは10代の投稿者の声です。『私にとっての平和とは？』『平和のために自分ができることは？』について、一生懸命に考えてくれました。

実は、その時間こそが、今回のプロジェクトで私たちが大切にしかつたことです。そして、これらの言葉は、私たちがピースあいちで活動しながら、日々、思っていることと同じでした。

プロジェクトを進めていく上で、以下のような声にも勇気づけられました。

「この作文を書いて、改めて平和についての大切さに気づいた。私達にとっての平和は何なのか？日本にとっての平和は何なのか？世界にとっての平和は何なのか？これからも考えていきたいと思う。」

「このような平和について考えること一つ一つを一人でも多くの人に読んでもらうことが、平和につながる第一歩だと思います。」

2016年9月の第1回プロジェクト会議から2017年1月の第4回会議まで毎回、議論してはそれぞれが作業を持ち帰り、投稿募集の準備を進めてきました。募集が始まって5回目の会議がもたれた4月時点での投稿者数は3名。

「大丈夫、夏休みもあり、来館者も増える。これから、きっとたくさんの投稿が来る」という期待どおり、夏休み以降、12月までで予想以上の412名の投稿が集まりました。

ボランティアさんが来館者に声をかけたり、語り手の会の出かけて行った先で協力を求めたり、地道に働きかけをした成果です。

「投稿は市民と共有する」というコンセプトがあつたため、これをデータ化しなければなりません。投稿の山を見つめて、どうしたものかと思案に暮れていましたが、まず、データを入力・集計するフォーマットを作成してくれる協力者が現われ、それをもとに若手のボランティアさんを中心に、手分けしてデータ化する作業も行うことができました。「ピースあいちにはなかなか行けないけれど、家でデータ入力することはできる」と、大量に投稿用紙を持ち帰ってくれたボランティアさんもいました。

そうしてようやく、本報告書ができました。ご協力いただいた皆様、ありがとうございました。

当初考えていた20代、30代の方からの投稿数は多くありませんでしたが、その世代の声を拾い上げ、それらに耳をかたむけていくことは、今後の課題としたいと思います。

この報告が、多くの人と共有でき、さまざまな形で活用されることを希望します。

2018年3月29日

「私にとっての平和とは？」投稿募集プロジェクトチーム

◆プロジェクトチーム

林和子 縫部祐子 白井文子 下方映子 佐藤和夫 木村麻子 小田鑑彦 赤澤ゆかり

◆プロジェクト協力（敬称略）

山中千恵 宮原大輔 庭山輝男 乳井公子 竹川日出男 坂井栄子 河原忠宏 加藤令子
小野寺千春 大野恵 岩男涼 稲田浩治 安藤あゆみ

戦争と平和の資料館 ピースあいち 開館10周年記念企画
「私にとっての平和とは？投稿募集」報告書

発行日 2018年3月29日

発行 戦争と平和の資料館 ピースあいち
〒465-0091 名古屋市名東区よもぎ台2-820
TEL.FAX 052-602-4222
<http://www.peace-aichi.com>

©戦争と平和の資料館 ピースあいち

*この冊子は開催地域社会貢献活動基金〈モリコロ基金〉からの助成を受けています。